

大学番号：010

注3

事前伺い

[令和元年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

東北大学大学院 文学研究科
日本学専攻、広域文化学専攻及び総合人間学専攻
注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務・コンプライアンス課

職名・氏名 課長 ^{スガワラ}菅原 ^{タカシ}隆
法規係長 ^{クドウ}工藤 ^{ジュンペイ}淳平

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

F A X 022-217-6068

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学研究科

＜日本学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

＜広域文化学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	55
2. 授業科目の概要	62
3. 施設・設備の整備状況、経費	77
4. 既設大学等の状況	78
5. 教員組織の状況	83
6. 附帯事項等に対する履行状況等	110
7. その他全般的事項	111

＜総合人間学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	114
2. 授業科目の概要	121
3. 施設・設備の整備状況、経費	134
4. 既設大学等の状況	135
5. 教員組織の状況	140
6. 附帯事項等に対する履行状況等	164
7. その他全般的事項	165

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人東北大学

(2) 大 学 名

東北大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内27番1号

(〒980-8577

宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)	(ヤナギハラ トシアキ) 柳原 敏昭 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年 4月1日付けで変更 (2)
専攻長	(オオコウチ ショウ) 大河内 昌 (平成31年4月)	(サクラ ヨシヤス) 佐倉 由泰 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年 4月1日付けで変更 (2)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
文学研究科 日本学専攻 (博士前期課程) 修士(文学) 修士(学術)	文学関係	2 年	29 人	— 年次 人	58 人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	29 (-) [-]	人	29 (-) [-]	人	1.18倍	—	
志願者数	43 (0) [13]	— (-) [-]	65 (0) [33]	— (-) [-]			
受験者数	41 (0) [13]	— (-) [-]	61 (0) [31]	— (-) [-]			
合格者数	34 (0) [12]	— (-) [-]	36 (0) [17]	— (-) [-]			
B 入学者数	33 (0) [11]	— (-) [-]	36 (0) [17]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.13		1.24				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	33 [11] (一)	— [—] (一)	36 [17] (一)	— [—] (一)	
2 年次			32 [10] (一)	— [—] (一)	
計			68 [27] ()		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	33 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	69 人	1 人	令和元年度	1 人	1 人	[学生個人の心身に関する事情(1名)]
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{69} = \boxed{1.44} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
文学研究科 日文学専攻 (博士後期課程) 博士(文学) 博士(学術)	文学関係	3 年	14 人	— 年次 人	42 人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	14 (—) [—]	人 人	14 (—) [—]	人 人	() []	人 人	1.31倍	—	
志願者数	27 (0) [16]	— (—) [—]	22 (0) [11]	— (—) [—]	() () []	() () []			
受験者数	26 (0) [16]	— (—) [—]	22 (0) [11]	— (—) [—]	() () []	() () []			
合格者数	20 (0) [13]	— (—) [—]	17 (0) [8]	— (—) [—]	() () []	() () []			
B 入学者数	20 (0) [13]	— (—) [—]	17 (0) [8]	— (—) [—]	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.42		1.21						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	20 [13] (一)	— [—] (一)	17 [8] (一)	— [—] (一)			
2 年次			19 [12] (一)	— [—] (一)			
3 年次							
計	20 [13] (一)		36 [20] (一)				

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	20 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	37 人	1 人	令和元年度	1 人	1 人	[就職(1人)]
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜文学研究科 日本学専攻 博士前期課程＞

(1) ー① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前	2			5	7				
	日本学総合科目Ⅱ	1後	2			7	9				兼1
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼13
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2							兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2						兼4
	小計（6科目）	—	4	4	4	7	9				兼24
特論	現代日本学芸分析特論Ⅰ	1前		2		1					兼1
	現代日本学芸分析特論Ⅱ	1後		2							
	現代日本学歴史分析特論Ⅰ	1前		2			1				
	現代日本学社会分析特論Ⅰ	1後		2			1				
	現代日本学日本哲学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	現代日本学研究特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本思想史特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本思想史特論Ⅱ	1後		2			1				
	日本比較思想史特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本文化思想史特論Ⅰ	1後		2							兼1
	日本語構造論特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本語構造論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語変異論特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本語変異論特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本語学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語教育学特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本語教育学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語教育学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	日本文芸形成論特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本文芸形成論特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本文芸形成論特論Ⅲ	1前		2			1				
	日本文芸形成論特論Ⅳ	1前		2			1				
	日本古代・中世史特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本古代・中世史特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本近世・近代史特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本近世・近代史特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本史特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本史特論Ⅱ	1後		2		1					
	史料学Ⅰ	1前		2		1					
	史料学Ⅱ	1後		2			1				
	考古学特論Ⅰ	1前		2			1				
	考古学特論Ⅱ	1後		2		1					
	考古学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	考古学特論Ⅳ	1後		2							兼1
	文化財科学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	文化財科学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2							兼6
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	小計（38科目）	—		76		7	9				兼18

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前	2			10	4				
	日本学総合科目Ⅱ	1後	2			13	3				
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼15
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2							兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2						兼8
	小計（6科目）	—	4	4	4	13	5				兼30
特論	現代日本学芸分析特論Ⅰ	1前		2		1	1				
	現代日本学芸分析特論Ⅱ	1後		2							兼1
	現代日本学歴史分析特論Ⅰ	1前		2			1				
	現代日本学社会分析特論Ⅰ	1後		2			1				
	現代日本学日本哲学特論Ⅰ	1後		2							兼1
	現代日本学研究特論Ⅰ	1後		2		1					
	日本思想史特論Ⅰ	1後		2			1				
	日本思想史特論Ⅱ	1前		2		1					
	日本比較思想史特論Ⅰ	1後		2		1					
	日本文化思想史特論Ⅰ	1後		2							兼1
	日本語構造論特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本語構造論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語変異論特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本語変異論特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本語学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語教育学特論Ⅰ	1後		2		1					
	日本語教育学特論Ⅱ	1前		2			1				
	日本語教育学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	日本文芸形成論特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本文芸形成論特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本文芸形成論特論Ⅲ	1前		2			1				
	日本文芸形成論特論Ⅳ	1前		2							兼1
	日本古代・中世史特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本古代・中世史特論Ⅱ	1後		2							兼1
	日本近世・近代史特論Ⅰ	1後		2			1				
	日本近世・近代史特論Ⅱ	1前		2		1					
	日本史特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本史特論Ⅱ	1前		2							兼1
	史料学Ⅰ	1前		2		1					
	史料学Ⅱ	1後		2			1				
	考古学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	考古学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	考古学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	考古学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	文化財科学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	文化財科学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2							兼3
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	小計（38科目）	—		76		10	7				兼19

総合演習	現代日本学総合演習Ⅰ	1前	2		1	2				兼1
	現代日本学総合演習Ⅱ	1後	2		1	2				兼1
	日本思想史総合演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本思想史総合演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本語学総合演習Ⅰ	1前	2		2	1				
	日本語学総合演習Ⅱ	1後	2		2	1				
	日本語学総合演習Ⅲ	1前	2		2	1				
	日本語学総合演習Ⅳ	1後	2		2	1				
	日本語教育学総合演習Ⅰ	1通	2			1				兼1
	日本語教育学総合演習Ⅱ	2通	2			1				兼1
	日本文学総合演習Ⅰ	1前	2		1	1				
	日本文学総合演習Ⅱ	1後	2		1	1				
	小計（12科目）	—	24		4	6				兼2
研究演習	現代日本学基分析研究演習Ⅰ	1前	2		1					兼1
	現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ	1後	2			1				
	現代日本学社会分析研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本思想史研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本思想史研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本語構造論研究演習Ⅰ	1前	2							
	日本語構造論研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本語変異論研究演習Ⅰ	1前	2		1					
	日本語変異論研究演習Ⅱ	1後	2		1					
	日本語変異論研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本語教育方法論研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本語教育方法論研究演習Ⅱ	1前	2			1				
	日本語教育方法論研究演習Ⅲ	1前	2			1				
	日本語教育学研究演習Ⅰ	1後	2			1				
	日本語教育学研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本古典文学研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本古典文学研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本古典文学研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本古典文学研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	日本近代文学研究演習Ⅰ	1前	2		1					
	日本近代文学研究演習Ⅱ	1後	2		1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本古代・中世史研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本古代・中世史研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	日本近世・近代史研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本近世・近代史研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本近世・近代史研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本近世・近代史研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	考古学研究演習Ⅰ	1・2前	2		1					
	考古学研究演習Ⅱ	1・2後	2			1				
	考古学研究演習Ⅲ	1・2前	2		1					
	考古学研究演習Ⅳ	1・2後	2			1				
	文化財科学研究演習Ⅰ	1・2前	2							兼2
	文化財科学研究演習Ⅱ	1・2後	2							兼2
	文化財科学研究演習Ⅲ	1・2前	2							兼2
	文化財科学研究演習Ⅳ	1・2後	2							兼2
	小計（37科目）	—	70		7	9				兼3
研究実習	日本語教育学研究実習Ⅰ	1前	2			1				兼2
	日本語教育学研究実習Ⅱ	1後	2			1				
	日本史研究実習Ⅰ	1前	2			1				
	日本史研究実習Ⅱ	1後	2			1				
	考古学研究実習Ⅰ	1前	2			1				
	考古学研究実習Ⅱ	1後	2		1					
	文化財科学研究実習Ⅰ	1・2前	2							
	文化財科学研究実習Ⅱ	1・2前	2							
	小計（8科目）	—	16		1	3				兼2

総合演習	現代日本学総合演習Ⅰ	1前	2		1	3				
	現代日本学総合演習Ⅱ	1後	2		1	3				
	日本思想史総合演習Ⅰ	1前	2		1	1				
	日本思想史総合演習Ⅱ	1後	2		1	1				
	日本語学総合演習Ⅰ	1前	2		3					
	日本語学総合演習Ⅱ	1後	2		3					
	日本語学総合演習Ⅲ	1前	2		3					
	日本語学総合演習Ⅳ	1後	2		3					
	日本語教育学総合演習Ⅰ	1前	2		1	1				
	日本語教育学総合演習Ⅱ	2後	2		1	1				
	日本文学総合演習Ⅰ	1前	2		2	1				
	日本文学総合演習Ⅱ	1後	2		1	1				
	小計（12科目）	—	24		8	6				
研究演習	現代日本学基分析研究演習Ⅰ	1前	2		1					兼1
	現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ	1後	2			1				
	現代日本学社会分析研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本思想史研究演習Ⅰ	1前	2		1	1				
	日本思想史研究演習Ⅱ	1後	2		1	1				
	日本語構造論研究演習Ⅰ	1後	2		1					
	日本語構造論研究演習Ⅱ	1前	2							
	日本語変異論研究演習Ⅰ	1前	2		1					
	日本語変異論研究演習Ⅱ	1後	2		1					
	日本語変異論研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本語教育方法論研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本語教育方法論研究演習Ⅱ	1前	2		1					
	日本語教育方法論研究演習Ⅲ	1後	2							
	日本語教育学研究演習Ⅰ	1後	2			1				
	日本語教育学研究演習Ⅱ	1前	2		1					
	日本古典文学研究演習Ⅰ	1前	2		1					
	日本古典文学研究演習Ⅱ	1前	2		1					
	日本古典文学研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本古典文学研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	日本近代文学研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本近代文学研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本古代・中世史研究演習Ⅰ	1前	2		1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅱ	1後	2		1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	日本近世・近代史研究演習Ⅰ	1前	2			1				
	日本近世・近代史研究演習Ⅱ	1後	2			1				
	日本近世・近代史研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	日本近世・近代史研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	考古学研究演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2		1					
	考古学研究演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2		1					
	考古学研究演習Ⅲ	1・2前	2		2					
	考古学研究演習Ⅳ	1・2後	2		2					
	文化財科学研究演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2							兼2
	文化財科学研究演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2							兼2
	文化財科学研究演習Ⅲ	1・2前	2							兼2
	文化財科学研究演習Ⅳ	1・2後	2							兼2
	小計（37科目）	—	70		13	6				兼4
研究実習	日本語教育学研究実習Ⅰ	1前	2			1				兼2
	日本語教育学研究実習Ⅱ	1後	2			1				
	日本史研究実習Ⅰ	1前	2			1				
	日本史研究実習Ⅱ	1後	2			1				
	考古学研究実習Ⅰ	1前	2		2					
	考古学研究実習Ⅱ	1後	2		2					
	文化財科学研究実習Ⅰ（未開講）	1・2前	2							
	文化財科学研究実習Ⅱ	1・2前	2							
	小計（8科目）	—	16		2	2				兼2

スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究	1前		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2			1				
	英語研究論文作成法	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2		1					
	人文統計基礎演習	1後		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計（8科目）	—		16		2	1				兼12
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			7	9				兼1
	小計（1科目）	—	8			7	9				兼1
合計（116科目）		—	12	218	4	7	9				兼69
修了要件及び履修方法											
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、日本学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・総合演習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2			1				
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
学術実践活動	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2							兼5
	小計（14科目）	—		28		1	1				兼18
論文研究	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
学術実践活動	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			13	7				
	小計（1科目）	—	8			13	7				
合計（122科目）		—	12	230	4	13	7				兼62
修了要件及び履修方法											
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、日本学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・総合演習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前	2			8	4				兼1
	日本学総合科目Ⅱ	1後	2			11	5				兼1
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼15
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2							兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2						兼8
	小計（6科目）	—	4	4	4	11	5				兼29
特論	現代日本学芸分析特論Ⅰ	1前		2		1					
	現代日本学芸分析特論Ⅱ	1後		2							兼1
	現代日本学歴史分析特論Ⅰ	1前		2			1				
	現代日本学社会分析特論Ⅰ	1後		2			1				
	現代日本学日本哲学特論Ⅰ	1後		2							兼1
	現代日本学研究特論Ⅰ	1後		2		1					
	日本思想史特論Ⅰ	1後		2			1				
	日本思想史特論Ⅱ	1前		2		1					
	日本比較思想史特論Ⅰ	1後		2							兼1
	日本文化思想史特論Ⅰ	1前		2					1		
	日本語構造論特論Ⅰ	1前		2			1				
	日本語構造論特論Ⅱ	1前		2							兼1
	日本語変異論特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本語変異論特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本語学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語教育学特論Ⅰ	1後		2		1					
	日本語教育学特論Ⅱ	1前		2			1				
	日本語教育学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	日本文芸形成論特論Ⅰ	1後		2		1					
	日本文芸形成論特論Ⅱ	1後		2		1					
	日本文芸形成論特論Ⅲ	1前		2			1				
	日本文芸形成論特論Ⅳ	1前		2							兼1
	日本古代・中世史特論Ⅰ	1前		2		1					
	日本古代・中世史特論Ⅱ	1後		2							兼1
	日本近世・近代史特論Ⅰ	1後		2			1				
	日本近世・近代史特論Ⅱ	1前		2		1					
	日本史特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本史特論Ⅱ	1前		2							兼1
	史科学Ⅰ	1前		2		1					
	史科学Ⅱ	1後		2			1				
	考古学特論Ⅰ	1後		2			1				
	考古学特論Ⅱ	1後		2		1					
	考古学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	考古学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	文化財科学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	文化財科学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2							兼3
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	小計（38科目）	—		76		11	8		1		兼17

総合演習	現代日本学総合演習Ⅰ	1前	2	1	2				兼1
	現代日本学総合演習Ⅱ	1後	2	1	2				兼1
	日本思想史総合演習Ⅰ	1前	2	1					
	日本思想史総合演習Ⅱ	1後	2	1	1				
	日本語学総合演習Ⅰ	1前	2	2	1				兼1
	日本語学総合演習Ⅱ	1後	2	2	1				兼1
	日本語学総合演習Ⅲ	1前	2	2	1				兼1
	日本語学総合演習Ⅳ	1後	2	2	1				兼1
	日本語教育学総合演習Ⅰ	1前	2	1	1				
	日本語教育学総合演習Ⅱ	2後	2	1	1				
	日本文学総合演習Ⅰ	1前	2	2	1				
	日本文学総合演習Ⅱ	1後	2	2	1				
	小計（12科目）	—	24	7	6				兼2
研究演習	現代日本学基分析研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	現代日本学社会分析研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	日本思想史研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	日本思想史研究演習Ⅱ	1後	2	1	1				
	日本語構造研究演習Ⅰ	1後	2						兼1
	日本語構造研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	日本語変異論研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	日本語変異論研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	日本語変異論研究演習Ⅲ	1前	2	1					
	日本語教育方法論研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	日本語教育方法論研究演習Ⅱ	1前	2	1					兼1
	日本語教育方法論研究演習Ⅲ	1前	2						
	日本語教育学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	日本語教育学研究演習Ⅱ	1前	2	1					
	日本古典文学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	日本古典文学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	日本古典文学研究演習Ⅲ	1前	2	1					
	日本古典文学研究演習Ⅳ	1後	2	1					
	日本近代文学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	日本近代文学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	日本古代・中世史研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅲ	1前	2	1					
	日本古代・中世史研究演習Ⅳ	1後	2	1					
	日本近世・近代史研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	日本近世・近代史研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	日本近世・近代史研究演習Ⅲ	1前	2	1					
	日本近世・近代史研究演習Ⅳ	1後	2	1					
	考古学研究演習Ⅰ	1・2前	2	1					
	考古学研究演習Ⅱ	1・2後	2		1				
	考古学研究演習Ⅲ（未開講）	1・2前	2	1					
	考古学研究演習Ⅳ（未開講）	1・2後	2		1				
	文化財科学研究演習Ⅰ	1・2前	2						兼2
	文化財科学研究演習Ⅱ	1・2後	2						兼2
	文化財科学研究演習Ⅲ（未開講）	1・2前	2						兼2
	文化財科学研究演習Ⅳ（未開講）	1・2後	2						兼2
	小計（37科目）	—	70	11	8				兼4
研究実習	日本語教育学研究実習Ⅰ	1前	2	1	1				
	日本語教育学研究実習Ⅱ	1後	2	1	1				
	日本史研究実習Ⅰ	1前	2		1				
	日本史研究実習Ⅱ	1後	2		1				
	考古学研究実習Ⅰ	1前	2	1					
	考古学研究実習Ⅱ	1後	2		1				
	文化財科学研究実習Ⅰ	1・2前	2						兼2
	文化財科学研究実習Ⅱ（未開講）	1・2前	2						兼2
	小計（8科目）	—	16	2	3				兼2

スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼2
	英語発表技能演習	1後		2		1					
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
小計（13科目）		—		26		1	1				兼13
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			11	9				兼1
	小計（1科目）	—	8			11	9				兼1
合計（121科目）		—	12	228	4	11	9		1		兼52
修了要件及び履修方法											
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、日本学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅢ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・総合演習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。
- （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実及び准教授から教授への昇任のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授7」から「教授8、准教授4、兼1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授9」から「教授11、准教授5」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼15」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「総合人間学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼8」に変更。
- ・教育効果向上のため、「現代日本学日本哲学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「現代日本学研究特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本思想史特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「日本思想史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「日本比較思想史特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果向上及び助教1名採用のため、「日本文化思想史特論Ⅰ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本語構造論特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「日本語教育学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本文芸形成論特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本文芸形成論特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本古代・中世史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本古代・中世史特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本近世・近代史特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本近世・近代史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「日本史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「考古学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「考古学特論Ⅳ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「東洋文化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅲ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅳ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。
- ・教育効果向上、准教授から教授への昇任並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学総合演習Ⅰ」の開講時期を「1通」から「1前」に、専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果向上、准教授から教授への昇任並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学総合演習Ⅱ」の開講時期を「2通」から「2後」に、専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任及び准教授1名採用のため、「日本文学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任及び准教授1名採用のため、「日本文学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本思想史研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任及び准教授1名採用のため、「日本思想史研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「日本語構造論研究演習Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本語教育方法論研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本語教育方法論研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「日本語教育学研究演習Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本古典文学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本古典文学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本近代文学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本近代文学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本古代・中世史研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「日本古代・中世史研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任及び教育内容の充実のため、「日本語教育学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「考古学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「考古学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実及び担当教員見直しのため、授業科目名を「日本語研究論文作成法Ⅰ」から「日本語研究論文作成法Ⅱ」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・准教授から教授への昇任4名、准教授3名採用並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「修士論文研修」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授11」に変更。

【令和２年度】

・准教授から教授への昇任、兼任講師１名就任辞退及び教育内容の充実のため、「日本文学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授８、准教授４、兼１」から「教授１０、准教授４」に変更。

・准教授から教授への昇任２名及び兼任講師１名就任辞退のため、「日本文学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１１、准教授５、兼１」から「教授１３、准教授３」に変更。

・教育内容の充実のため、「現代日本文学芸分析特論Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授１」を追加。

・担当教員見直しのため、「日本比較思想史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。

・教育効果向上及び担当教員の見直しのため、「日本文化思想史特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「助教１」から「兼１」に変更。

・准教授から教授への昇任のため、「日本語構造論特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。

・教育効果向上のため、「日本語構造論特論Ⅱ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。

・教育効果向上のため、「日本語教育学特論Ⅲ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。

・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「日本文芸形成論特論Ⅰ」の開講時期を「１後」から「１前」に、専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。

・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「考古学特論Ⅰ」の開講時期を「１後」から「１前」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。

・担当教員見直しのため、「考古学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。

・教育効果向上のため、「考古学特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。

・担当教員見直しのため、「現代日本文学総合演習Ⅰ」及び「現代日本文学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２、兼１」から「准教授３」に変更。

・教育内容の充実のため、「日本思想史総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授１」を追加。

・准教授から教授への昇任及び兼任講師１名就任辞退のため、「日本語学総合演習Ⅰ」、「日本語学総合演習Ⅱ」、「日本語学総合演習Ⅲ」及び「日本語学総合演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授１、兼１」から「教授３」に変更。

・担当教員見直しのため、「日本文学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」に変更。

・教育内容の充実のため、「日本思想史研究演習Ⅰ」専任教員等の配置に「准教授１」を追加。

・担当教員見直しのため、「日本語構造論研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。

・教育効果向上及び担当教員の見直しのため、「日本語構造論研究演習Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。

・教育効果向上のため、「日本語教育方法論研究演習Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。

・教育効果向上のため、「日本古典文学研究演習Ⅱ」開講時期を「１後」から「１前」に変更。

・准教授から教授への昇任のため、「考古学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。

・教育内容の充実のため、「考古学研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。

・准教授から教授への昇任及び教育内容の充実のため、「考古学研究演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授２」に変更。

・担当教員の見直しのため、「日本語教育学研究実習Ⅰ」及び「日本語教育学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置から「教授１」を削除。

・教育内容の充実のため、「考古学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。

・准教授から教授への昇任及び教育内容の充実のため、「考古学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授２」に変更。

・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。

・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。

・准教授から教授への昇任２名及び兼任講師１名就任辞退のため、「修士論文研修」の専任教員等の配置を「教授１１、准教授９、兼１」から「教授１３、准教授７」に変更。

- (注) ・ ２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(２) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
3 科目	109 科目	2 科目	116 科目	3 科目 [0]	115 科目 [6]	2 科目 [0]	122 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	考古学研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
2	考古学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
3	文化財科学研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
4	文化財科学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
5	文化財科学研究実習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである。学生には在学期間中の履修機会を確保しているので、教育上の問題はない。

「学生への周知方法」
学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{116} = \boxed{4.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<文学研究科 日本学専攻 博士後期課程>

(1) ① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1					兼2
	小計（1科目）	—	2			1					兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究	1前		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2			1				兼1
	英語研究論文作成法	1前		2							
	日本語研究論文作成法	1前		2		1					兼1
	人文統計基礎演習	1後		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計（8科目）	—		16		2	1				兼12
	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
学術実践活動	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			6	9				兼2
	小計（1科目）	—	8			6	9				兼2
合計（16科目）			—	10	28		6	9			兼16
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2				3	2			兼10
	小計（1科目）	—	2				3	2			兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2			1				兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2							兼5
	小計（14科目）	—		28		1	1				兼18
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8				12	7			兼1
	小計（1科目）	—	8				12	7			兼1
合計（22科目）			—	10	40		12	7			兼29
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2				兼10
	小計（1科目）	—	2			3	2				兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼2
	英語発表技能演習	1後		2			1				
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計（13科目）	—		26		1	1				兼13
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			10	9				兼2
	小計（1科目）	—	8			10	9				兼2
合計（21科目）		—	10	38		10	9				兼22
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授3、准教授2、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実及び担当教員見直しのため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・准教授から教授への昇任4名、准教授3名採用並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授6、准教授9」から「教授10、准教授9」に変更。

【令和2年度】

- ・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
- ・准教授から教授への昇任2名及び兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授10、准教授9、兼2」から「教授12、准教授7、兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	14 科目	0 科目	16 科目	2 科目 [0]	20 科目 [6]	0 科目 [0]	22 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	購入のため(2)		
	校 舎 敷 地	21,917,049㎡ 21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,917,049㎡ 21,915,365㎡			
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡			
	小 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部取り壊しのため(2)			
	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	12 室	16 室	13 室	1 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員退職のため(2)		
	文学研究科日本学専攻			19 20 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 図書等購入及び視聴覚資料等 廃棄のため(2)
	文学研究科日本 学専攻	4,180,950 [1,974,780] 4,168,468 [1,974,876] (4,180,950 [1,974,780]) (4,168,468 [1,974,876])	86,599 [42,652] 86,198 [42,422] (86,599 [42,652]) (86,198 [42,422])	13,543 [13,528] 13,287 [13,272] (13,543 [13,528]) (13,287 [13,272])	7,429 8,242 (7,429) (8,242)	46,462 45,198 (46,462) (45,198)	2,432,337 2,432,339 (2,432,337) (2,432,339)	
	計	4,180,950 [1,974,780] 4,168,468 [1,974,876] (4,180,950 [1,974,780]) (4,168,468 [1,974,876])	86,599 [42,652] 86,198 [42,422] (86,599 [42,652]) (86,198 [42,422])	13,543 [13,528] 13,287 [13,272] (13,543 [13,528]) (13,287 [13,272])	7,429 8,242 (7,429) (8,242)	46,462 45,198 (46,462) (45,198)	2,432,337 2,432,339 (2,432,337) (2,432,339)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 一部改修中のため(2)	
	37,050㎡ 45,481㎡		2,554席 2,885席		3,914,722冊 4,328,122冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,024㎡		武道場					
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の概要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学										備 考
既設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	令和2 年度入 学定員 超過率	定員変更 年度（AC 期間の学 科のみ）	開設 年度	所 在 地	
文学部	人文社会学科	年 4	人 210	年次 人 —	人 840	学士 (文学)	倍 1.05	倍 1.05	年度	年度 平9年度 改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士 (教育学)	1.05	1.07		平10年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
法学部	法学科	4	160	—	640	学士 (法学)	1.05	1.04		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次 10	540	学士 (経済学)	1.04	1.03		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
	経営学科	4	130	3年次 10	540					昭43年 度		
	計		260	20	1,080							
理学部	数学科	4	45	—	180	学士 (理学)	0.97	0.97		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年度 改組・統 合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年度 改組		
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.00		平7年度 改組・統 合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120		1.01	1.02		平4年度 改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80					平4年度 改組(平 20年度 改称)		
	生物学科	4	40	—	160		1.03	1.05		昭24年 度		
	計		324	—	1,296		1.01	1.00				
医学部	医学科	6	116	—	791	学士 (医学)	1.01	1.01	令和2	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	令和2年度定員変 更 (11)
	保健学科	4	144	—	576	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.00	0.98		平16年 度改組		
	計		279	—	1,386		1.01	1.00				
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士 (歯学)	1.00	1.00		昭40年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士 (創薬科学)	1.08	1.06		平18年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	薬学科	6	20	—	120	学士 (薬学)	1.07	1.05				
	計		80	—	360		1.07	1.06				

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.01	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)		
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99	1.01		平16年度改組		
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.01	1.02				
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		1.00	1.01				
	計		810	—	3,240		1.01	1.00				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04	1.04		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600		1.04	1.04				
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。												
文学研究科	日本文学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.18	1.24	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			14	—	28		1.31	1.21	令和元			
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.84	0.68	令和元			
			12	—	24		0.95	1.16	令和元			
	総合人間学専攻	5	31	—	62		1.19	1.09	令和元			
			12	—	24		1.08	1.16	令和元			
	文化科学専攻	5	—	—	—		—	—		平11年度改組		
			—	—	—		—	—				
	言語科学専攻	5	—	—	—		—	—		平12年度改組		
			—	—	—		—	—				
歴史科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組				
		—	—	—	—	—						
人間科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組				
		—	—	—	—	—						
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.93	0.91		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			15	—	45		1.20	1.00				
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.95	0.60		平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度定員変更 (△8)
			12	—	36		0.63	0.66				
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.82	1.04		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号	
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	1.06	1.00				

経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	110	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.80	0.53		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更 (10)
			14	—	54	0.68	0.35	令和2年度定員変更 (△6)				
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.87	0.75		平17年度		
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.87	0.89		平7年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
			18	—	54		0.57	0.44				
	物理学専攻	5	91	—	182		0.88	0.84	平6年度改組			
			46	—	138		0.55	0.54				
	天文学専攻	5	9	—	18		1.11	1.22				
			4	—	12		0.66	0.50				
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.01	0.96				
			13	—	39		0.56	0.46				
	化学専攻	5	66	—	132		1.23	1.09	平7年度改組			
			33	—	99		0.55	0.48				
	地学専攻	5	32	—	64		1.19	1.18	平6年度改組			
			16	—	48		0.51	0.37				
医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.16	1.00		平15年度改組	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	平成30年度定員変更 (△2)
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.09	1.01		平9年度改組		
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術) 博士 (障害科学) 博士 (学術)	0.82	0.65		平6年度改組		
			9	—	27	1.14	0.33		平8年度改組			
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術) 博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.20	1.25		平20年度改組		
			12	—	36	1.11	1.00		平22年度改組			
	公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.15	1.20		平27年度		
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	14	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	1.06	1.12		平16年度	宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号	令和2年度定員変更 (2)
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.94	0.73		平12年度改組		

薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術) 博士 (薬科学) 博士 (学術)	1.26	1.22		平22年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
			8	—	24		0.66	0.75			
	生命薬科学専攻	5	32	—	64		0.96	0.87			
			10	—	30		0.73	1.00			
	医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.50	0.75		平24年度	
工学部	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.39	1.45		平7年度改組(平16年度改称・平28年度改称)	
			10	—	30		1.23	1.20			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.10	0.93			
			11	—	33		0.45	0.18			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.88	0.69		平15年度(平28年度改称)	
			11	—	33		0.69	0.36			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.51	1.42		平7年度改組	
			11	—	33		1.05	1.09			
	量子エネルギー工学専攻	5	38	—	76		1.12	1.10		昭33年度(平8年度改称)	
			11	—	33		0.84	0.63			
電気エネルギーシステム専攻	5	32	—	64	1.18		1.31		平24年度		
		8	—	24	0.29		0.25				
通信工学専攻	5	31	—	62	1.43		1.29				
		8	—	24	0.91		0.75				
電子工学専攻	5	51	—	102	0.87		0.88		昭28年度		
		15	—	45	0.26		0.20				
応用物理学専攻	5	32	—	64	0.93		0.78				
		11	—	33	0.72		0.54				
応用化学専攻	5	26	—	52	0.93		0.76				
		8	—	24	0.70		0.37				
化学工学専攻	5	34	—	68	1.05	1.05		昭40年度			
		7	—	21	0.51	0.42					
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.21	1.21		平4年度(平16年度改称)			
		5	—	15	0.66	0.60					
金属フロンティア工学専攻	5	26	—	52	1.18	1.11		昭28年度(平16年度改称)			
		7	—	21	1.09	0.71					
知能デバイス材料学専攻	5	37	—	74	1.18	1.10		昭39年度(昭62年度・平16年度改称)			
		10	—	30	1.16	0.70					
材料システム工学専攻	5	30	—	60	1.13	1.06		昭44年度(平9年度・平16年度改称)			
		8	—	24	0.91	0.75					
土木工学専攻	5	43	—	86	1.23	1.13		昭38年度			
		12	—	36	1.38	1.08					
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.16	1.15		昭38年度(平8年度改称)			
		8	—	24	1.28	0.87					
技術社会システム専攻	5	21	—	42	1.11	1.14		平14年度			
		13	—	39	0.32	0.30					

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.30	1.22		平15年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		0.99	0.76				
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.15	1.08				
			13	—	39		0.50	0.30				
	生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76		1.28	1.36				
			11	—	33		1.14	0.63				
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.90	1.00		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41	
			16	—	48		0.74	0.43				
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.97	1.00		平5年度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			11	—	33		0.57	0.27				
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.24				
			11	—	33		1.26	0.81				
	人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60		0.68	0.56				
			10	—	30		0.80	1.00				
生命科学研究科	脳生命統御科学専 攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.85	0.77		平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	
			10	—	30		0.50	0.40				
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	70		0.78	0.62				
			10	—	30		0.80	0.60				
	分子化学生物学専 攻	5	35	—	70		1.22	1.22				
			10	—	30		0.70	0.70				
環境科学研究科	先進社会環境学専 攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		1.07	0.38				
	先端環境創成学専 攻	5	60	—	120		0.93	0.91				
			20	—	60		0.60	0.50				
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.17	1.05		平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	平成30年度定員 変更(2)
			12	—	36		1.05	1.00				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 日本学専攻 博士前期課程>

(1) ① 担当教員表

【事前伺い時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (60) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学芸分析特論Ⅰ 現代日本学研究特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学芸分析研究演習Ⅰ 日本語研究論文作成法 修士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語構造論研究演習Ⅰ 修士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <平成32年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語構造論研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅱ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅲ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	大木 一夫 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅰ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅰ 日本語変異論研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学形成論特論Ⅰ 日本文学形成論特論Ⅱ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅲ 日本古典文学研究演習Ⅳ 日本近代文学研究演習Ⅰ 日本近代文学研究演習Ⅱ 修士論文研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学芸分析特論Ⅰ 現代日本学研究特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学芸分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅰ 修士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅱ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅲ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅰ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅰ 日本語変異論研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学形成論特論Ⅱ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅲ 日本古典文学研究演習Ⅳ 修士論文研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (62) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学芸分析特論Ⅰ 現代日本学研究特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学芸分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	小林 隆 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅱ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅲ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	大木 一夫 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅰ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅰ 日本語変異論研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学形成論特論Ⅱ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅲ 日本古典文学研究演習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳原 敏昭 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅱ 日本史特論Ⅱ 史科学Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅲ 日本古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅲ 日本近世・近代史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	阿子島 香 (62) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅱ 考古学研究演習Ⅰ 考古学研究演習Ⅲ 考古学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	田中（仙田）重人 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ 現代日本学社会分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学社会分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学歴史分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ 英語発表技能演習 修士論文研究
専	准教授	片岡 龍 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本思想史特論Ⅰ 日本思想史特論Ⅱ 日本比較思想史特論Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	甲田（高橋）直美 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅰ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳原 敏昭 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 史科学Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅲ 日本古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅲ 日本近世・近代史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	阿子島 香 (63) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅱ 考古学研究演習Ⅰ 考古学研究演習Ⅲ 考古学研究実習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	田中（仙田）重人 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ 現代日本学社会分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学社会分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学歴史分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ 英語発表技能演習 修士論文研究
専	教授	片岡 龍 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本思想史特論Ⅱ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	甲田（高橋）直美 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅰ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳原 敏昭 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 史科学Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅲ 日本古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅲ 日本近世・近代史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	阿子島 香 (64) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学研究演習Ⅰ 考古学研究演習Ⅲ 考古学研究演習Ⅳ 考古学研究実習Ⅰ 考古学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	田中（仙田）重人 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ 現代日本学社会分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学社会分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学歴史分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ 英語発表技能演習 修士論文研究
専	教授	片岡 龍 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本思想史特論Ⅱ 日本比較思想史特論Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	甲田（高橋）直美 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅰ 日本語学総合演習Ⅰ 日本語学総合演習Ⅱ 日本語学総合演習Ⅲ 日本語学総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅰ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小河原 義朗 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語教育学特論Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅰ 日本語教育方法論研究演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅲ 日本語教育学研究演習Ⅰ 日本語教育学研究演習Ⅱ 日本語教育学研究実習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	横溝 博 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学形成論特論Ⅲ 日本文学形成論特論Ⅳ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅰ 日本古典文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	堀 裕 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅰ 史科学Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅰ 日本近世・近代史研究演習Ⅱ 日本史研究実習Ⅰ 日本史研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅰ 考古学研究演習Ⅱ 考古学研究演習Ⅳ 考古学研究実習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	引野 李輔 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本思想史特論Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本文学形成論特論Ⅲ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本近代文学研究演習Ⅰ 日本近代文学研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小河原 義朗 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語教育学特論Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅱ 日本語教育学研究演習Ⅱ 日本語教育学研究実習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	横溝 博 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学形成論特論Ⅰ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅰ 日本古典文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	堀 裕 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅰ 史科学Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅰ 日本近世・近代史研究演習Ⅱ 日本史研究実習Ⅰ 日本史研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅰ 考古学研究演習Ⅱ 考古学研究演習Ⅳ 考古学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	引野 李輔 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本思想史特論Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本文学形成論特論Ⅲ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本近代文学研究演習Ⅰ 日本近代文学研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小河原 義朗 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語教育学特論Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅱ 日本語教育学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	横溝 博 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学総合演習Ⅰ 日本古典文学研究演習Ⅰ 日本古典文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	堀 裕 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅰ 史科学Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅰ 日本近世・近代史研究演習Ⅱ 日本史研究実習Ⅰ 日本史研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	鹿又 喜隆 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 考古学研究演習Ⅱ 考古学研究演習Ⅲ 考古学研究演習Ⅳ 考古学研究実習Ⅰ 考古学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	引野 李輔 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本思想史特論Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本文学形成論特論Ⅲ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本近代文学研究演習Ⅰ 日本近代文学研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	沼崎 一郎 (59) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II
兼任	教授	桜井 宗信 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	三浦 秀一 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II
兼任	教授	川合 安 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II
兼任	教授	大河内 昌 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	島 越郎 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	森本 浩一 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目 I 西洋文化学特論 I
兼任	教授	今井 勉 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II キャリア設計演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	茂木 謙之介 (34) ＜令和元年10月＞ 博士（学術）
		修士論文研究
専任	助教	岡安 徹之 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本文化思想史特論 I
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	木村 敏明 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II
兼任	教授	桜井 宗信 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	三浦 秀一 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋文化学特論 II
兼任	教授	川合 安 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	大河内 昌 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	島 越郎 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	森本 浩一 (62) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目 I 西洋文化学特論 I
兼任	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II キャリア設計演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	茂木 謙之介 (35) ＜令和元年10月＞ 博士（学術）
		現代日本学芸分析特論 I 現代日本学総合演習 I 現代日本学総合演習 II 修士論文研究
兼任	教授	沼崎 一郎 (61) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	木村 敏明 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	桜井 宗信 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II
兼任	教授	三浦 秀一 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II
兼任	教授	川合 安 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目 II
兼任	教授	森本 浩一 (63) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目 I 西洋文化学特論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	有光 秀行 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (58) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	藤澤 敦 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		文化財科学特論Ⅰ 文化財科学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	有光 秀行 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	戸島 貴代志 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	教授	坂井 信之 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	藤澤 敦 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		文化財科学特論Ⅰ 文化財科学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	有光 秀行 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	戸島 貴代志 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (60) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (55) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	藤澤 敦 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		文化財科学特論Ⅰ 文化財科学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	土屋 育子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ
兼任	准教授	矢田 尚子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋文化学特論Ⅱ
兼任	准教授	大野 晃嗣 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋文化学特論Ⅱ
兼任	准教授	荻原 理 (50) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 塑 (49) ＜平成31年4月＞ P h. D.（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	FONGARO ENRICO (48) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia
		現代日本学日本哲学特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ
兼任	准教授	佐藤 大介 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本史特論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	土屋 育子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ
兼任	准教授	矢田 尚子 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	大野 晃嗣 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ
兼任	准教授	荻原 理 (51) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 塑 (50) ＜平成31年4月＞ P h. D.（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	FONGARO ENRICO (49) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia
		現代日本学日本哲学特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ
兼任	准教授	佐藤 大介 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本史特論Ⅰ
兼任	准教授	村山 達也 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	大村 哲夫 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	土屋 育子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ
兼任	准教授	矢田 尚子 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	大野 晃嗣 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ
兼任	教授	荻原 理 (52) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 塑 (51) ＜平成31年4月＞ P h. D.（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	FONGARO ENRICO (50) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia
		現代日本学日本哲学特論Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 大介 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本史特論Ⅰ
兼任	准教授	村山 達也 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	大村 哲夫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	准教授	大貫 隆史 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 広域文化学総合科目Ⅰ
						兼任	准教授	黒岩 卓 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 広域文化学総合科目Ⅰ
						兼任	准教授	浅岡 善治 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 広域文化学総合科目Ⅱ
						兼任	准教授	高浦 康有 (46) ＜令和2年4月＞ 商学修士 科学技術社会論実践演習
						兼任	准教授	山内 保典 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学） 科学技術社会論実践演習
兼任	講師	菅野 智則 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 考古学特論Ⅳ	兼任	講師	菅野 智則 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 考古学特論Ⅳ	兼任	講師	菅野 智則 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 考古学特論Ⅲ
兼任	講師	島崎 薫 (33) ＜平成31年4月＞ P h . D .（オーストラリア） 日本語教育学特論Ⅱ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ	専	准教授	島崎 薫 (34) ＜平成31年4月＞ P h . D .（オーストラリア） 日本学総合科目Ⅰ 日本語教育学特論Ⅱ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅰ 日本語教育学研究演習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅱ 修士論文研究	専	准教授	島崎 薫 (35) ＜平成31年4月＞ P h . D .（オーストラリア） 日本学総合科目Ⅰ 日本語教育学特論Ⅱ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅰ 日本語教育学研究演習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅱ 修士論文研究
			兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ	兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (36) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	講師	須田 良平 (60) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） 文化財科学研究演習Ⅰ 文化財科学研究演習Ⅱ 文化財科学研究演習Ⅲ 文化財科学研究演習Ⅳ 文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ						
兼任	講師	古川 一明 (60) ＜平成31年4月＞ 学士（文学） 文化財科学研究演習Ⅰ 文化財科学研究演習Ⅱ 文化財科学研究演習Ⅲ 文化財科学研究演習Ⅳ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉野 武 (53) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ
兼任	講師	高橋 明彦 (54) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		現代日本学芸分析特論Ⅱ
兼任	講師	宇野田 尚哉 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本文化思想史特論Ⅰ
兼任	講師	小柳 智一 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本語学特論Ⅰ
兼任	講師	衣川 隆生 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（学術）
		日本語教育学特論Ⅲ
兼任	講師	奈良 貴史 (57) ＜平成31年4月＞ P h . D . (フランス)
		考古学特論Ⅲ
兼任	講師	Max Phillips (49) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues)
		英語研究論文作成法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 明彦 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		現代日本学芸分析特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (50) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues)
		英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
兼任	講師	高橋 栄一 (53) ＜平成31年4月＞ 学士（学校教育学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ 文化財科学研究実習Ⅲ 文化財科学研究実習Ⅳ 文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ
兼任	講師	須賀 正美 (56) ＜平成31年4月＞ 学士（文学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ 文化財科学研究実習Ⅲ 文化財科学研究実習Ⅳ
兼任	講師	白崎 恵介 (50) ＜平成31年4月＞ 学士（工学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ
兼任	講師	山岡 政紀 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（言語学）
		日本語学特論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 明彦 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		現代日本学芸分析特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (51) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues)
		英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
兼任	講師	高橋 栄一 (54) ＜平成31年4月＞ 学士（学校教育学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ 文化財科学研究実習Ⅲ 文化財科学研究実習Ⅳ 文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ
兼任	講師	須賀 正美 (57) ＜平成31年4月＞ 学士（文学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ 文化財科学研究実習Ⅲ 文化財科学研究実習Ⅳ
兼任	講師	白崎 恵介 (51) ＜平成31年4月＞ 学士（工学）
		文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	柳田 直美 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（言語学）			
					日本語教育学特論Ⅲ			
			兼任	講師	池谷 和信 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）			
					考古学特論Ⅲ			
			兼任	講師	小倉 紀藤 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）			
					日本比較思想史特論Ⅰ			
			兼任	講師	平田 英夫 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）			
					日本文芸形成論特論Ⅳ			
			兼任	講師	七海 雅人 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	七海 雅人 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					日本古代・中世史特論Ⅱ			日本古代・中世史特論Ⅱ
			兼任	講師	大友 一雄 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（歴史学）			
					日本史特論Ⅱ			
			兼任	講師	難波 康治 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）			
					日本語教育方法論研究演習Ⅲ			
			兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ			日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ
						兼任	講師	河西 英通 (66) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								日本文化思想史特論Ⅰ
			兼任	講師	小西 いずみ (46) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）			
					日本語学特論Ⅰ			
			兼任	講師	天野（福島）みどり (58) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）			天野（福島）みどり (58) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
					日本語構造論特論Ⅱ			

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	津田 智史 (36) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
								日本語構造研究演習Ⅱ
						兼任	講師	伊東 祐郎 (64) ＜令和2年4月＞ MS in Education (アメリカ)
								日本語教育学特論Ⅲ
						兼任	講師	村田 晶子 (56) ＜令和2年4月＞ P h . D . (アメリカ)
								日本語教育方法論研究演習Ⅲ
						兼任	講師	久保 聖一 (41) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
								日本文芸形成論特論Ⅰ
						兼任	講師	平林 香織 (60) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
								日本文芸形成論特論Ⅳ
						兼任	講師	佐藤 泰弘 (56) ＜令和2年4月＞ 文学博士
								日本史特論Ⅱ
						兼任	講師	有松 唯 (38) ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
								考古学特論Ⅳ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直し及び教育内容の充実のため、齋藤倫明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、大木一夫教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐倉由泰教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、柳原敏昭教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿子島香教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を追加及び削除。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆准教授の授業担当科目を削除及び追加。
- ・平成31年4月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のための担当者増及び担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月に平政人准教授就任。教育内容の充実のための担当者増及び担当教員見直しのため。
- ・令和元年10月茂木謙之介准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・宇野田尚哉講師就任辞退により、岡安儀之助教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、三浦秀一教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を削除。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、小泉政利教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月尾崎彰宏教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のため。
- ・担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、矢田尚子准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・教育内容の充実のため、大野晃嗣准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月村山達也准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月島崎薫講師を兼任から専任に切替及び准教授に昇任。教育内容充実及び担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA Olga助教就任。教育課程の充実のため。
- ・須田良平講師就任辞退により、高橋栄一講師に変更。
- ・古川一郎講師就任辞退により、須賀正美講師に変更。
- ・吉野武講師就任辞退により、白崎恵介講師に変更。
- ・小柳智一講師就任辞退により、山岡正紀講師に変更。
- ・衣川隆生講師就任辞退により、柳田直美講師に変更。
- ・奈良貴史講師就任辞退により、池谷和信講師に変更。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月小倉紀蔵講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月平田英夫講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月七海雅人講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月大友一雄講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月難波康治講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため

【令和2年度】

- ・齋藤倫明兼任講師就任辞退のため、大木一夫教授及び天野（福島）みどり講師に変更。「日本学総合科目Ⅱ」「日本語学総合演習Ⅰ」「日本語学総合演習Ⅱ」「日本語学総合演習Ⅲ」「日本語学総合演習Ⅳ」「日本語構造論研究演習Ⅰ」「修士論文研究」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、柳原敏昭教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直し及び教育内容の充実のため、阿子島香教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・小倉紀蔵講師退職のため、片岡龍教授の授業担当科目を追加。
- ・甲田（高橋）直美准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、横溝博教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、堀裕教授の授業担当科目を削除。
- ・鹿又喜隆准教授を教授に昇任。担当教員見直し及び教育内容の充実のため、授業担当科目を追加及び削除。
- ・教育内容の充実のため、引野亨輔准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、茂木謙之介准教授の授業担当科目を追加。
- ・岡安儀之助教授退職により、河西英通講師に変更。
- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、桜井宗信教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、大河内昌教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、島越郎教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を追加。
- ・令和2年4月浜田宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月金子義明教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月直江清隆教授、堀尾喜彦教授及び佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月佐野勝宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・担当教員見直しのため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を削除。
- ・大野晃嗣准教授及び荻原理准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、FONGARO ENRICO准教授の授業担当科目を削除。
- ・令和2年4月大貫隆史准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月黒岩卓准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月浅岡善治准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有准教授及び山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・池谷和信講師退職及び担当教員見直しのため、菅野智則講師の授業担当科目を追加及び削除。
- ・山岡正紀講師退職により、小西いずみ講師に変更。
- ・柳田直美講師退職により、伊東祐郎講師に変更。
- ・平田英夫講師退職により、平林香織講師に変更。
- ・大友一雄講師退職により、佐藤泰弘講師に変更。
- ・難波康治講師退職により、村田晶子講師に変更。
- ・令和2年4月津田智史講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月久保堅一講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月有松唯講師就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')	
7	9	0	0	16	0	13	7	0	0	20	0	
(12)	(8)	(0)	(1)	(21)	(0)							
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数					
16	0	0				20	0					0
(20)	(1)	(0)										
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')	
13	7	0	0	20	0	13	7	0	0	20	0	
[6]	[Δ2]	[0]	[0]	[4]	[0]	[6]	[Δ2]	[0]	[0]	[4]	[0]	
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数					
20	0	0				20	0					0
[4]	[0]	[0]				[4]	[0]					[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{16} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	岡安 儀之	R2.3	選択	日本文化思想史特論Ⅰ	②	R2.9.30付け任期満了のため辞任（2）
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{16} = 6.25 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	齋藤 倫明	必修		日本学総合科目Ⅰ	①	R2. 3. 31付け65歳で定年退職（2）							
			必修		日本学総合科目Ⅱ	③								
			選択		日本語構造論特論Ⅱ	②								
			選択		日本語学総合演習Ⅰ	①								
			選択		日本語学総合演習Ⅱ	①								
			選択		日本語学総合演習Ⅲ	①								
			選択		日本語学総合演習Ⅳ	①								
			選択		日本語構造論研究演習Ⅰ	①								
必修		修士論文研究	①											
合計					後任補充状況の集計									
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1	人	必修		3	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択		6	科目	選択	5	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		9	科目	計	7	科目	計	1	科目	計	1	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 1. 「日本学総合科目Ⅰ」「日本学総合科目Ⅱ」「日本文化思想史特論Ⅰ」「日本語構造論特論Ⅱ」「日本語学総合演習Ⅰ」「日本語学総合演習Ⅱ」「日本語学総合演習Ⅲ」「日本語学総合演習Ⅳ」「日本語構造論研究演習Ⅰ」については、他の教員が担当しているため、教育上の支障はない。 2. 「修士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。 「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 日本学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【事前伺い時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本語研究論文作成法 博士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <平成32年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	柳原 敏昭 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	阿子島 香 (62) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
兼任	講師	阿子島 香 (62) <平成33年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		博士論文研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (62) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	大木 一夫 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	柳原 敏昭 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	阿子島 香 (63) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
兼任	講師	阿子島 香 (63) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		博士論文研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	教授	小林 隆 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	大木 一夫 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	柳原 敏昭 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	阿子島 香 (64) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
兼任	講師	阿子島 香 (64) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		英語発表技能演習 博士論文研究
専	准教授	片岡 龍 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	甲田（高橋）直美 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		博士論文研究
専	准教授	小河原 義朗 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	横溝 博 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	堀 裕 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
兼任	教授	木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習 博士論文研究
専	教授	片岡 龍 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	甲田（高橋）直美 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		博士論文研究
専	教授	小河原 義朗 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	横溝 博 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	堀 裕 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	島崎 薫 (34) ＜平成31年4月＞ Ph. D. (オーストラリア)
		博士論文研究
専	准教授	引野 亨輔 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	茂木 謙之介 (35) ＜令和元年10月＞ 博士（学術）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習 博士論文研究
専	教授	片岡 龍 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	甲田（高橋）直美 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		博士論文研究
専	教授	小河原 義朗 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	横溝 博 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	堀 裕 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	鹿又 喜隆 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	島崎 薫 (35) ＜平成31年4月＞ Ph. D. (オーストラリア)
		博士論文研究
専	准教授	引野 亨輔 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	茂木 謙之介 (36) ＜令和元年10月＞ 博士（学術）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		キャリア設計演習
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (58) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 勉 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 キャリア設計演習
兼任	教授	戸島 貴代志 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	教授	坂井 信之 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	三浦 秀一 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	小松 文晃 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 勉 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	戸島 貴代志 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	阿部 恒之 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (55) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	三浦 秀一 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	沼崎 一郎 (61) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	小松 文晃 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	永井 彰 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学 研究
兼任	准教授	荻原 理 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 壘 (49) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷山 洋三 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学 特別科目
兼任	准教授	荻原 理 (52) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 壘 (50) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	山田 仁史 (46) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l .（ドイツ）
		人文社会科学 特別科目
兼任	准教授	大村 哲夫 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学 研究 I 人文社会科学 研究 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	重江 清隆 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	教授	浜田 宏 (49) ＜令和2年4月＞ 博士（社会学）
		キャリア設計演習
兼任	教授	大森 美香 (57) ＜令和2年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		人文社会科学 特別科目
兼任	教授	堀尾 喜彦 (60) ＜令和2年4月＞ 工学博士
		科学技術社会論実践演習
兼任	教授	佐藤 茂雄 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	准教授	谷山 洋三 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学 特別科目
兼任	教授	荻原 理 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 壘 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	山田 仁史 (47) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l .（ドイツ）
		人文社会科学 特別科目
兼任	准教授	大村 哲夫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学 研究 I 人文社会科学 研究 II
兼任	准教授	杉本 欣久 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学 特別科目
兼任	准教授	高浦 康有 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（商学）
		科学技術社会論実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	准教授	山内 保典 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学） 科学技術社会論実践演習
			兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ	兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (36) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (49) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues) 英語研究論文作成法	兼任	講師	Max Phillips (50) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues) 英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ	兼任	講師	Max Phillips (51) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues) 英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
			兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ	兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。
- ・教育内容の充実のため、龍橋俊光准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月仁平政人准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・令和元年10月茂木謙之介准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・木村敏明教授就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月三浦秀一教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月沼崎一郎教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月小松文晃教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・平成31年4月山田仁史准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・齋藤倫明兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、片岡龍教授の授業担当科目を追加。
- ・甲田（高橋）直美准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・鹿又喜隆准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業科目を削除。
- ・令和2年4月永井彰教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月直江清隆教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月浜田宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月大森美香准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・萩原理准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月杉本欣久准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A´)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B´)
6	9	0	0	15	0	13	7	0	0	20	0
(12)	(8)	(0)	(0)	(20)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
15	0	0				20	0	0			
(20)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C´)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D´)
12	7	0	0	19	0	12	7	0	0	19	0
[6]	[Δ2]	[0]	[0]	[4]	[0]	[6]	[Δ2]	[0]	[0]	[4]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
19	0	0				19	0	0			
[4]	[0]	[0]				[4]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{15} = \boxed{126.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ）＋（ b ）＋（ c ）				①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{15} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	齋藤 倫明	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 「博士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。 「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学研究科 日本学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日としており、令和元年度は年間19回開催した。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席した。

<コンプライアンス推進委員会>

不定期開催としており、令和元年度は開催しなかった。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄、を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

② 実施状況

a 実施内容

令和元年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの受講を促すとともに、「研究倫理・研究不正防止FD」を10/17に実施した。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「教育に関するFD」を1/16に実施した。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させた。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に促した。

b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは 一般財団法人公正研究推進協会が提供するeラーニング教材を利用して実施した。

FDは高度教養教育・学生支援機構から講師を派遣してもらい、講義形式で実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時、FDは各年1回を予定。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「教育に関するFD」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和２年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和３年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人東北大学

(2) 大 学 名

東北大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内27番1号

(〒980-8577

宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)	(ヤナギハラ トシアキ) 柳原 敏昭 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年 4月1日付けで変更 (2)
専攻長	(カネコ ヨシアキ) 金子 義明 (平成31年4月)	(ヌマザキ イチロウ) 沼崎 一郎 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年 4月1日付けで変更 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。)
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 広域文化学専攻 (博士前期課程) 修士(文学) 修士(学術)	文学関係	2年	29人	— 年次人	58人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	29人 (—) [—]	—人	29人 (—) [—]	—人	0.84倍	—	
志願者数	52 (0) [22]	— (—) [—]	45 (0) [34]	— (—) [—]			
受験者数	49 (0) [20]	— (—) [—]	43 (0) [33]	— (—) [—]			
合格者数	32 (0) [9]	— (—) [—]	21 (0) [12]	— (—) [—]			
B 入学者数	29 (0) [9]	— (—) [—]	20 (0) [12]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	1.00		0.68				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和2年度		備 考
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	29 [9] (-)	— [—] (-)	20 [12] (-)	— [—] (-)	
2 年次			28 [9] (-)	— [—] (-)	
計			48 [21] (-)	— [—] (-)	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	29 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	49 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	就職(1名)
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{49} = \boxed{2.04} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
文学研究科 広域文化学専攻 (博士後期課程) 博士(文学) 博士(学術)	文学関係	3年	12人	— 年次人	36人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均入学定員超過 率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	12 (—) [—]	人	12 (—) [—]	人	() []	人	0.95倍	—	
志願者数	12 (0) [2]	— (—) [—]	17 (0) [6]	— (—) [—]	() []	() []			
受験者数	12 (0) [2]	— (—) [—]	17 (0) [6]	— (—) [—]	() []	() []			
合格者数	9 (0) [1]	— (—) [—]	14 (0) [3]	— (—) [—]	() []	() []			
B 入学者数	9 (0) [1]	— (—) [—]	14 (0) [3]	— (—) [—]	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.75		1.16						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	9 [1] (-)	— [—] (-)	14 [3] (-)	— [—] (-)			
2 年次			8 [1] (-)	— [—] (-)			
3 年次							
計	9 [1] (-)		22 [4] (-)				

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	9 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	23 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	就職(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学研究科 広域文化学専攻 博士前期課程>

(1) ー① 授業科目表

【事前伺い時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼12
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前	2			10	3				
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後	2			2	1				
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2							兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2						兼4
	小計（6科目）	—	4	4	2	10	4				兼26
特 論	文化人類学特論Ⅰ	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅱ	1・2後		2							兼1
	文化人類学特論Ⅲ	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅳ	1・2後		2			1				
	宗教学特論Ⅰ	1前		2		1					
	宗教学特論Ⅱ	1後		2			1				
	宗教学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	死生学特論Ⅰ	1前		2			1				
	死生学特論Ⅱ	1後		2			1				
	死生学特論Ⅲ	1前		2			1				
	実践宗教学特論Ⅰ	1前		2			1				
	実践宗教学特論Ⅱ	1後		2			1				
	インド学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	インド学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	インド仏教史特論Ⅰ	1前		2		1					
	インド仏教史特論Ⅱ	1後		2		1					
	インド学仏教史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋文化学特論Ⅰ	1前		2		2	4				
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2		2	4				
	中国語学中国文学特論Ⅰ	1前		2			1				
	中国語学中国文学特論Ⅱ	1後		2			1				
	中国語学中国文学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	中国思想特論Ⅰ	1前		2			1				
	中国思想特論Ⅱ	1後		2		1					
	中国思想特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋古代中世史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋古代中世史特論Ⅱ	1後		2		1					
	東洋古代中世史特論Ⅲ	1前		2		1					
	東洋近世史特論Ⅰ	1前		2			1				
	東洋近世史特論Ⅱ	1後		2			1				
	東洋近世史特論Ⅲ	1前		2							兼1
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2		1					
	西洋文化学特論Ⅱ	1後		2		1					
	英文学特論Ⅰ	1・2前		2		1					
	英文学特論Ⅱ	1・2後		2		1					
	英文学特論Ⅲ	1・2前		2		1					
	英文学特論Ⅳ	1・2後		2		1					

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼14
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼16
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前	2			9	6				
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後	2			2	1				
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2							兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2						兼8
	小計（6科目）	—	4	4	4	10	7				兼31
特 論	文化人類学特論Ⅰ（未開講）	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅱ（未開講）	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅲ	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅳ	1・2前		2							兼1
	宗教学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	宗教学特論Ⅱ	1前		2			1				
	宗教学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	死生学特論Ⅰ	1前		2		1					
	死生学特論Ⅱ	1後		2		1					
	死生学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	実践宗教学特論Ⅰ	1前		2			1				
	実践宗教学特論Ⅱ	1後		2			1				
	実践宗教学特論Ⅲ	1前		2		1					兼1
	実践宗教学特論Ⅳ	1後		2		1					兼1
	インド学特論Ⅰ	1前		2			1				
	インド学特論Ⅱ	1後		2			1				
	インド仏教史特論Ⅰ	1前		2		1					
	インド仏教史特論Ⅱ	1後		2		1					
	インド学仏教史特論Ⅰ	1後		2							兼1
	東洋文化学特論Ⅰ	1前		2		1	2				
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2		3					
	中国語学中国文学特論Ⅰ	1前		2		1					
	中国語学中国文学特論Ⅱ	1後		2			1				
	中国語学中国文学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	中国思想特論Ⅰ	1前		2			1				
	中国思想特論Ⅱ	1後		2		1					
	中国思想特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋古代中世史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋古代中世史特論Ⅱ	1後		2		1					
	東洋古代中世史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋近世史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋近世史特論Ⅱ	1後		2		1					
	東洋近世史特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋近世史特論Ⅳ	1前		2							兼1
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2		1					
	西洋文化学特論Ⅱ	1後		2		1					
	英文学特論Ⅰ（未開講）	1・2前		2		1					
	英文学特論Ⅱ（未開講）	1・2後		2		1					
	英文学特論Ⅲ	1・2前		2		1					
	英文学特論Ⅳ	1・2後		2		1					

特論	英語文化論特論Ⅰ	1・2前	2					兼1
	英語文化論特論Ⅱ	1・2前	2					兼1
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ	1・2前	2		1			
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ	1・2後	2		1			
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ	1・2前	2		1			
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ	1・2後	2		1			
	英語学基礎特論Ⅰ	1・2前	2	1				
	英語学基礎特論Ⅱ	1・2前	2	1				
	英語学特論Ⅰ	1・2前	2					兼1
	英語学特論Ⅱ	1・2後	2	1				
	英語学特論Ⅲ	1・2前	2					兼1
	英語学特論Ⅳ	1・2後	2	1				
	ドイツ文学特論Ⅰ	1前	2	1				
	ドイツ文学特論Ⅱ	1後	2					兼1
	ドイツ文化学特論Ⅰ	1前	2	1				兼1
	ドイツ文化学特論Ⅱ	1後	2	1				兼1
	フランス文学特論Ⅰ	1前	2	1				
	フランス文学特論Ⅱ	1後	2	1				
	フランス文学特論Ⅲ	1前	2	1				
	フランス文学特論Ⅳ	1後	2	1				
	フランス文化学特論Ⅰ	1前	2		1			
	フランス文化学特論Ⅱ	1後	2					兼1
	西洋史特論Ⅰ	1前	2	1				兼1
	西洋史特論Ⅱ	1後	2	1				
	西洋史特論Ⅲ	1後	2					兼1
	西洋史特論Ⅳ	1後	2		1			
	比較文化史学特論Ⅰ	1前	2					兼1
	小計（64科目）	—	128	11	10			兼14
総合演習	宗教学死生学総合演習Ⅰ	1前	2		1	2		
	宗教学死生学総合演習Ⅱ	1後	2		1	2		
	中国語学中国文学史総合演習Ⅰ	1前	2			2		
	中国語学中国文学史総合演習Ⅱ	1後	2			2		
	中国思想史総合演習Ⅰ	1前	2		1	1		
	中国思想史総合演習Ⅱ	1後	2		1	1		
	英語学総合演習Ⅰ	1・2前	2		2			
	英語学総合演習Ⅱ	1・2後	2		2			
	英語学総合演習Ⅲ	1・2前	2		2			
	英語学総合演習Ⅳ	1・2後	2		2			
	小計（10科目）	—	20		4	5		
研究演習	文化人類学研究演習Ⅰ	1前	2			1		
	文化人類学研究演習Ⅱ	1後	2			1		
	文化人類学研究演習Ⅲ	1前	2		1			
	宗教学死生学研究演習Ⅰ	1前	2			1		
	宗教学死生学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	インド学研究演習Ⅰ	1前	2					兼1
	インド学研究演習Ⅱ	1後	2					兼1
	インド仏教史研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	インド仏教史研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	中国語学中国文学研究演習Ⅰ	1前	2			1		
	中国語学中国文学研究演習Ⅱ	1後	2			1		
	中国語学中国文学研究演習Ⅲ	1前	2			1		
	中国語学中国文学研究演習Ⅳ	1後	2			1		
	中国思想文献研究演習Ⅰ	1前	2			1		
	中国思想文献研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	東洋史学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	東洋史学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	東洋史学研究演習Ⅲ	1前	2			1		
	小計（10科目）	—	20					
特論	英語文化論特論Ⅰ（未開講）	1・2前	2					兼1
	英語文化論特論Ⅱ	1・2前	2					兼1
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ（未開講）	1・2前	2			1		
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ（未開講）	1・2後	2			1		
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ	1・2前	2			1		
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ	1・2後	2			1		
	英語学基礎特論Ⅰ（未開講）	1・2前	2		1			
	英語学基礎特論Ⅱ	1・2前	2		1			
	英語学特論Ⅰ（未開講）	1・2前	2					兼1
	英語学特論Ⅱ（未開講）	1・2後	2		1			
	英語学特論Ⅲ	1・2前	2					兼1
	英語学特論Ⅳ	1・2後	2		1			
	ドイツ文学特論Ⅰ	1前	2		1			
	ドイツ文学特論Ⅱ	1後	2					兼1
	ドイツ文化学特論Ⅰ	1前	2					兼1
	ドイツ文化学特論Ⅱ	1後	2					兼1
	フランス文学特論Ⅰ	1前	2		1			
	フランス文学特論Ⅱ	1後	2		1			
	フランス文学特論Ⅲ	1前	2		1			
	フランス文学特論Ⅳ	1後	2		1			
	フランス文化学特論Ⅰ	1後	2		1			
	フランス文化学特論Ⅱ	1前	2					兼1
	西洋史特論Ⅰ	1前	2					兼1
	西洋史特論Ⅱ	1後	2		1			
	西洋史特論Ⅲ	1前	2					兼1
	西洋史特論Ⅳ	1前	2			1		
	比較文化史学特論Ⅰ	1後	2					兼1
	小計（67科目）	—	134		14	7		兼25
総合演習	宗教学死生学総合演習Ⅰ	1前	2			2	2	兼1
	宗教学死生学総合演習Ⅱ	1後	2			2	2	兼1
	中国語学中国文学史総合演習Ⅰ	1前	2			1	1	
	中国語学中国文学史総合演習Ⅱ	1後	2			1	1	
	中国思想史総合演習Ⅰ	1前	2		1	1		1
	中国思想史総合演習Ⅱ	1後	2		1	1		1
	英語学総合演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2		2			
	英語学総合演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2		2			
	英語学総合演習Ⅲ	1・2前	2		2			
	英語学総合演習Ⅳ	1・2後	2		2			
	小計（10科目）	—	20			6	4	兼1
研究演習	文化人類学研究演習Ⅰ	1前	2				1	
	文化人類学研究演習Ⅱ	1後	2				1	
	文化人類学研究演習Ⅲ	1後	2		1			
	宗教学死生学研究演習Ⅰ	1前	2					兼1
	宗教学死生学研究演習Ⅱ	1後	2					兼1
	インド学研究演習Ⅰ	1前	2				1	
	インド学研究演習Ⅱ	1後	2				1	
	インド仏教史研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	インド仏教史研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	中国語学中国文学研究演習Ⅰ	1前	2				1	
	中国語学中国文学研究演習Ⅱ	1後	2				1	
	中国語学中国文学研究演習Ⅲ	1前	2			1		
	中国語学中国文学研究演習Ⅳ	1後	2			1		
	中国思想文献研究演習Ⅰ	1前	2			1		
	中国思想文献研究演習Ⅱ	1後	2				1	
	東洋史学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	東洋史学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	東洋史学研究演習Ⅲ	1前	2			1		
	小計（10科目）	—	20					

研究演習	東洋史学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	英文学研究演習Ⅰ	1・2前	2		1				
	英文学研究演習Ⅱ	1・2後	2		1				
	英文学研究演習Ⅲ	1・2前	2		1				
	英文学研究演習Ⅳ	1・2後	2		1				
	英語文化論研究演習Ⅰ	1・2前	2		1				
	英語文化論研究演習Ⅱ	1・2後	2		1				
	英語文化論研究演習Ⅲ	1・2前	2		1				
	英語文化論研究演習Ⅳ	1・2後	2		1				
	英語学研究演習Ⅰ	1・2前	2	1					
	英語学研究演習Ⅱ	1・2後	2	1					
	英語学研究演習Ⅲ	1・2前	2	1					
	英語学研究演習Ⅳ	1・2後	2	1					
	ドイツ文学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	ドイツ文学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	ドイツ語学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	ドイツ語学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	フランス語学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	フランス文学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	フランス文学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	フランス文学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	フランス文学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	西洋古代・中世史研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅲ	1前	2	1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅳ	1後	2	1					
	西洋近現代史研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	西洋近現代史研究演習Ⅱ	1後	2		1				
研究実習	比較文化史学研究演習Ⅰ	1前	2						兼1
	比較文化史学研究演習Ⅱ	1後	2						兼1
小計（51科目）		—	102		12	11			兼3
研究実習	文化人類学研究実習Ⅰ	1前	2		1				
	文化人類学研究実習Ⅱ	1後	2		1				
	宗教学研究実習Ⅰ	1前	2		1	1			
	宗教学研究実習Ⅱ	1後	2		1	1			
	応用死生学研究実習Ⅰ	1前	2			1			
	応用死生学研究実習Ⅱ	1後	2			1			
	応用死生学研究実習Ⅲ	1前	2			1			
	応用死生学研究実習Ⅳ	1後	2			1			
小計（8科目）		—	16		2	2			

研究演習	東洋史学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	英文学研究演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2			1			
	英文学研究演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2			1			
	英文学研究演習Ⅲ	1・2前	2			1			
	英文学研究演習Ⅳ	1・2後	2			1			
	英語文化論研究演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2			1			
	英語文化論研究演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2			1			
	英語文化論研究演習Ⅲ	1・2前	2			1			
	英語文化論研究演習Ⅳ	1・2後	2			1			
	英語学研究演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1					
	英語学研究演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1					
	英語学研究演習Ⅲ	1・2前	2	1					
	英語学研究演習Ⅳ	1・2後	2	1					
	ドイツ文学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	ドイツ文学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	ドイツ語学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	ドイツ語学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅲ	1後	2	1					
	フランス語学研究演習Ⅳ	1後	2	1					
	フランス文学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	フランス文学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	フランス文学研究演習Ⅲ	1前	2			1			
	フランス文学研究演習Ⅳ	1後	2			1			
	西洋古代・中世史研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅲ	1前	2	1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅳ	1後	2	1					
	西洋近現代史研究演習Ⅰ	1前	2			1			
	西洋近現代史研究演習Ⅱ	1後	2			1			
研究実習	比較文化史学研究演習Ⅰ	1前	2						兼1
	比較文化史学研究演習Ⅱ	1後	2						兼1
小計（51科目）		—	102		14	9			兼2
研究実習	文化人類学研究実習Ⅰ	1前	2		1				
	文化人類学研究実習Ⅱ	1後	2		1				
	宗教学研究実習Ⅰ	1前	2		1	1			
	宗教学研究実習Ⅱ	1後	2		1	1			
	応用死生学研究実習Ⅰ	1前	2	1					兼1
	応用死生学研究実習Ⅱ	1後	2	1					兼1
	応用死生学研究実習Ⅲ	1前	2	1					兼1
	応用死生学研究実習Ⅳ	1後	2	1					兼1
小計（8科目）		—	16		3	2			兼1

スキル科目	研究倫理特論	1前		2						兼8
	西洋古典文化特論	1後		2						兼1
	人文社会科学研究	1前		2		1				
	英語発表技能演習	1後		2						兼1
	英語研究論文作成法	1前		2						兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2						兼1
	人文統計基礎演習	1後		2						兼1
	キャリア設計演習	1後		2						兼1
	小計（8科目）	—		16		1	1			兼13
	学術実践活動									
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2						兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2						兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2						兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2						兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2						兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2						兼1
	小計（6科目）	—		12						兼1
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			14	12			兼1
	小計（1科目）	—	8			14	12			兼1
合計（154科目）		—	12	298	2	14	12			兼59
修了要件及び履修方法										
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、広域文化学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。										

スキル科目	研究倫理特論	1前		2						兼8
	西洋古典文化特論	1後		2						兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2						兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2						兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2						兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2						兼1
	英語発表技能演習	1後		2						兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2						兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2						兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2						兼1
学術実践活動	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2						兼1
	人文統計基礎演習	1前		2						兼1
	キャリア設計演習	1後		2						兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2						兼5
	小計（14科目）	—		28						兼20
	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2						兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2						兼1
学術実践活動	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2						兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2						兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2						兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2						兼1
	小計（6科目）	—		12						兼1
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			18	12			
	小計（1科目）	—	8			18	12			
合計（163科目）		—	12	316	4	18	12		1	兼68
修了要件及び履修方法										
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、広域文化学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。										

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼13
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前	2			10	5				
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後	2			2	1				
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2							兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2						兼8
	小計（6科目）	—	4	4	4	10	5				兼31
特 論	文化人類学特論Ⅰ	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅱ	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅲ（未開講）	1・2前		2							兼1
	文化人類学特論Ⅳ（未開講）	1・2後		2			1				
	宗教学特論Ⅰ	1後		2		1					
	宗教学特論Ⅱ	1前		2			1				
	宗教学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	死生学特論Ⅰ	1前		2		1					
	死生学特論Ⅱ	1後		2		1					
	死生学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	実践宗教学特論Ⅰ	1前		2			1				
	実践宗教学特論Ⅱ	1後		2			1				
	実践宗教学特論Ⅲ	1前		2		1					兼1
	実践宗教学特論Ⅳ	1後		2		1					兼1
	インド学特論Ⅰ	1前		2			1				
	インド学特論Ⅱ	1後		2			1				
	インド仏教史特論Ⅰ	1前		2		1					
	インド仏教史特論Ⅱ	1後		2		1					
	インド学仏教史特論Ⅰ	1前		2							兼1
	東洋文化学特論Ⅰ	1前		2		1	2				
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2		2	1				
	中国語学中国文学特論Ⅰ	1前		2		1					
	中国語学中国文学特論Ⅱ	1後		2			1				
	中国語学中国文学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	中国思想特論Ⅰ	1後		2			1				
	中国思想特論Ⅱ	1前		2		1					
	中国思想特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋古代中世史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋古代中世史特論Ⅱ	1後		2		1					
	東洋古代中世史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋近世史特論Ⅰ	1前		2			1				
	東洋近世史特論Ⅱ	1後		2			1				
	東洋近世史特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋近世史特論Ⅳ	1後		2							兼1
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2		1					
	西洋文化学特論Ⅱ	1後		2		1					
	英文学特論Ⅰ	1・2前		2		1					
	英文学特論Ⅱ	1・2後		2		1					
	英文学特論Ⅲ（未開講）	1・2前		2		1					
	英文学特論Ⅳ（未開講）	1・2後		2		1					
	英語文化論特論Ⅰ	1・2前		2							兼1
	英語文化論特論Ⅱ（未開講）	1・2前		2							兼1
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ	1・2前		2			1				
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ	1・2後		2			1				
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ（未開講）	1・2前		2			1				
	英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ（未開講）	1・2後		2			1				

研究 演習	英語文化論研究演習Ⅱ	1・2後	2			1				
	英語文化論研究演習Ⅲ（未開講）	1・2前	2			1				
	英語文化論研究演習Ⅳ（未開講）	1・2後	2			1				
	英語学研究演習Ⅰ	1・2前	2	1						
	英語学研究演習Ⅱ	1・2後	2	1						
	英語学研究演習Ⅲ（未開講）	1・2前	2	1						
	英語学研究演習Ⅳ（未開講）	1・2後	2	1						
	ドイツ文学研究演習Ⅰ	1前	2	1						
	ドイツ文学研究演習Ⅱ	1後	2	1						
	ドイツ語学研究演習Ⅰ	1前	2	1						
	ドイツ語学研究演習Ⅱ	1後	2	1						
	フランス語学研究演習Ⅰ	1前	2	1						
	フランス語学研究演習Ⅱ	1後	2	1						
	フランス語学研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	フランス語学研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	フランス文学研究演習Ⅰ	1前	2	1						
	フランス文学研究演習Ⅱ	1後	2	1						
	フランス文学研究演習Ⅲ	1前	2		1					
	フランス文学研究演習Ⅳ	1後	2		1					
	西洋古代・中世史研究演習Ⅰ	1前	2	1						
	西洋古代・中世史研究演習Ⅱ	1後	2	1						
	西洋古代・中世史研究演習Ⅲ	1前	2	1						
	西洋古代・中世史研究演習Ⅳ	1後	2	1						
	西洋近現代史研究演習Ⅰ	1前	2		1					
	西洋近現代史研究演習Ⅱ	1後	2		1					
	比較文化史学研究演習Ⅰ	1前	2							兼1
	比較文化史学研究演習Ⅱ	1後	2							兼1
	小計（51科目）	—	102		13	11				兼1
研究 実習	文化人類学研究実習Ⅰ	1前	2	1						
	文化人類学研究実習Ⅱ	1後	2	1						
	宗教学研究実習Ⅰ	1前	2	1	1					
	宗教学研究実習Ⅱ	1後	2	1	1					
	応用死生学研究実習Ⅰ	1前	2	1	1					兼1
	応用死生学研究実習Ⅱ	1後	2	1	1					兼1
	応用死生学研究実習Ⅲ	1前	2	1	1					兼1
	応用死生学研究実習Ⅳ	1後	2	1	1					兼1
	小計（8科目）	—	16		3	2				兼1
ス キ ル 科 目	研究倫理特論	1前	2							兼8
	西洋古典文化特論	1後	2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2							兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2							兼2
	英語発表技能演習	1後	2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2							兼1
	人文統計基礎演習	1前	2							兼1
	キャリア設計演習	1後	2	1						
	小計（13科目）	—	26		1					兼14

学 術 実 践 活 動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論 文 研 究	修士論文研究	1・2通	8			16	12				兼1
	小計（1科目）	—	8			16	12				兼1
合計（162科目）		—	12	314	4	16	12				兼57
修了要件及び履修方法											
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、広域文化学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１２」から「兼１３」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授５」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「総合人間学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼８」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、総合科目の自由科目の小計を「２単位」から「４単位」に変更。
- ・教育効果向上のため、「文化人類学特論Ⅱ」の開講時期を「１・２後」から「１・２前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「宗教学特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「宗教学特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「死生学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「死生学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「死生学特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「実践宗教学特論Ⅲ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「実践宗教学特論Ⅳ」を新設。
- ・准教授１名採用（兼任講師からの切替）のため、「インド学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授１名採用のため、「インド学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「インド学仏教史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「東洋文化学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授４」から「教授１、准教授２」に変更。
- ・担当教員見直し及び准教授から教授への昇任のため、「東洋文化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授４」から「教授２、准教授１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「東洋古代中世史特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「東洋近世史特論Ⅳ」を新設。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「英語学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「英語学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「ドイツ文化学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「フランス文化学特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「西洋史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「西洋史特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「西洋史特論Ⅲ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「比較文化史学特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・教授１名採用及び教育内容の充実のため、「宗教学死生学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１、准教授２」から「教授２、准教授２、兼１」に変更。
- ・教授１名採用及び教育内容充実のため、「宗教学死生学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１、准教授２」から「教授２、准教授２、兼１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学史総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１、准教授１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学史総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２」から「教授１、准教授１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「文化人類学研究演習Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「宗教学死生学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「宗教学死生学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授１名採用（兼任講師から切替）のため、「インド学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授１名採用のため、「インド学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学研究演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「中国思想文献研究演習Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「中国思想文献研究演習Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に、専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・教授１名採用及び教育内容の充実のため、「応用死生学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・准教授１・兼１」に変更。
- ・教授１名採用及び教育内容の充実、「応用死生学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・准教授１・兼１」に変更。
- ・教授１名採用及び教育内容の充実のため、「応用死生学研究実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・准教授１・兼１」に変更。
- ・教授１名採用及び教育内容の充実のため、「応用死生学研究実習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・准教授１・兼１」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究Ⅰ」から「人文社会科学研究Ⅱ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教授１名及び准教授１名採用並びに准教授から教授への昇任のため、「修士論文研究」の専任教員等の配置を「教授１４、准教授１２」から「教授１６、准教授１２」に変更。

【令和２年度】

・教育内容の充実のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１３」から「兼１４」に変更。
 ・兼任講師１名就任辞退のため、「日本学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１７」から「兼１６」に変更。
 ・准教授から教授への昇任及び担当教員見直しのため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１０、准教授５」から「教授９、准教授６」に変更。
 ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「文化人類学特論Ⅳ」の開講時期を「１・２後」から「１・２前」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
 ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「宗教学特論Ⅰ」の開講時期を「１後」から「１前」に、専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
 ・教育効果向上のため、「インド学仏教史特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
 ・准教授から教授への昇任のため、「東洋文化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授１」から「教授３」に変更。
 ・教育効果向上のため、「中国語学中国文学特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
 ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅰ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
 ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅱ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
 ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅲ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
 ・准教授から教授への昇任のため、「東洋近世史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・准教授から教授への昇任のため、「東洋近世史特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・教育効果向上のため、「東洋近世史特論Ⅳ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
 ・担当教員見直しのため、「ドイツ文化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
 ・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「フランス文化学特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・教育効果向上のため、「西洋史特論Ⅱ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
 ・教育効果向上のため、「西洋史特論Ⅳ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
 ・助教１名採用のため、「中国思想史総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「助教１」を追加。
 ・助教１名採用のため、「中国思想史総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「助教１」を追加。
 ・担当教員見直しのため、「宗教学死生学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
 ・担当教員見直しのため、「宗教学死生学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
 ・教育効果向上のため、「中国思想文献研究演習Ⅰ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
 ・教育効果向上のため、「中国思想文献研究演習Ⅱ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
 ・准教授から教授への昇任のため、「東洋史学研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・准教授から教授への昇任のため、「東洋史学研究演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「フランス語学研究演習Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・准教授から教授への昇任のため、「フランス語学研究演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
 ・担当教員見直しのため「日本語・日本文化論特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
 ・担当教員見直しのため「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
 ・担当教員見直しのため「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
 ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
 ・准教授から教授への昇任２名、准教授２名採用、兼任講師１名就任辞退のため、「修士論文研究」の専任教員等の配置を「教授１６、准教授１２、兼１」から「教授１８、准教授１２」に変更。

- (注) ・ ２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(２) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
3 科目	149 科目	2 科目	154 科目	3 科目	158 科目 [9]	2 科目	163 科目 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	文化人類学特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
2	文化人類学特論Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
3	英文学特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
4	英文学特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
5	英語文化論特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
6	英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
7	英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
8	英語学基礎特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
9	英語学特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
10	英語学特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
11	英語学総合演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
12	英語学総合演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
13	英文学研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
14	英文学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
15	英語文化論研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
16	英語文化論研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
17	英語学研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
18	英語学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである。学生には在学期間中の履修機会を確保しているので、教育上の問題は無い。 「学生への周知方法」 学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	=	18	=	11.68 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)		154		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<文学研究科 広域文化学専攻 博士後期課程>

(1) ① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1					兼2
	小計（1科目）	—	2			1					兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前		2							兼8
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究	1前		2			1				
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2							兼1
	人文統計基礎演習	1後		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2		1					
	小計（8科目）	—		14		1	1				兼13
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			14	12				兼1
	小計（1科目）	—	8			14	12				兼1
合計（16科目）			—	8	28		14	12			兼16
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2				3	2			兼10
	小計（1科目）	—	2				3	2			兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2							兼8
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	科学技術社会論実践演習	1前		2							兼5
	小計（14科目）	—		28							兼20
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8				18	12			
	小計（1科目）	—	8				18	12			
合計（22科目）			—	10	40		18	12			兼28
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2				兼10
	小計（1科目）	—	2			3	2				兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2							兼8
	西洋古典文化特論	1後		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼2
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2							兼1
	キャリア設計演習	1後		2		1					
	小計（13科目）	—		26		1					兼14
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2							兼1
	小計（6科目）	—		12							兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			16	12				兼1
	小計（1科目）	—	8			16	12				兼1
合計（21科目）		—	10	38		16	12				兼21
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は毎学期2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授3、准教授2、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教授1名及び准教授1名採用並びに准教授から教授への昇任のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授14、准教授12」から「教授16、准教授12」に変更

【令和2年度】

- ・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
- ・准教授から教授への昇任2名、准教授2名採用及び兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授16、准教授12、兼1」から「教授18、准教授12」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	14 科目	0 科目	16 科目	2 科目 [0]	20 科目 [6]	0 科目 [0]	22 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	購入のため(2)		
	校 舎 敷 地	21,917,049㎡ 21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,917,049㎡ 21,915,365㎡			
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡			
	小 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部取り壊しのため(2)			
	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	12 室	16 室	13 室	1 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員採用のため(2)		
	文学研究科広域文化学専攻			30 29 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能な ため、大学全体の数 図書等購入及び視聴覚資料等 廃棄のため(2)
	文学研究科広域 文化学専攻	4,180,950 [1,974,780] 4,168,468 [1,974,876] (4,180,950 [1,974,780]) (4,168,468 [1,974,876])	86,599 [42,652] 86,198 [42,422] (86,599 [42,652]) (86,198 [42,422])	13,543 [13,528] 13,287 [13,272] (13,543 [13,528]) (13,287 [13,272])	7,429 8,242 (7,429) (8,242)	46,462 45,198 (46,462) (45,198)	2,432,337 2,432,339 (2,432,337) (2,432,339)	
	計	4,180,950 [1,974,780] 4,168,468 [1,974,876] (4,180,950 [1,974,780]) (4,168,468 [1,974,876])	86,599 [42,652] 86,198 [42,422] (86,599 [42,652]) (86,198 [42,422])	13,543 [13,528] 13,287 [13,272] (13,543 [13,528]) (13,287 [13,272])	7,429 8,242 (7,429) (8,242)	46,462 45,198 (46,462) (45,198)	2,432,337 2,432,339 (2,432,337) (2,432,339)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 一部改修中のため(2)	
	37,050㎡ 45,481㎡		2,554席 2,885席		3,914,722冊 4,328,122冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,024㎡		武道場					
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の概要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学										備 考
既設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	令和2 年度入 学定員 超過率	定員変更 年度（AC 期間の学 科のみ）	開設 年度	所 在 地	
文学部		年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
	人文社会学科	4	210	—	840	学士 (文学)	1.05	1.05		平9年度 改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士 (教育学)	1.05	1.07		平10年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
法学部	法学科	4	160	—	640	学士 (法学)	1.05	1.04		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次 10	540	学士 (経済学)	1.04	1.03		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
	経営学科	4	130	3年次 10	540					昭43年 度		
	計		260	20	1,080							
理学部	数学科	4	45	—	180	学士 (理学)	0.97	0.97		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年度 改組・統 合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年度 改組		
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.00		平7年度 改組・統 合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120		1.01	1.02		平4年度 改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80					平4年度 改組(平 20年度 改称)		
	生物学科	4	40	—	160		1.03	1.05		昭24年 度		
	計		324	—	1,296		1.01	1.00				
医学部	医学科	6	116	—	791	学士 (医学)	1.01	1.01	令和2	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	令和2年度定員変 更 (11)
	保健学科	4	144	—	576	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.00	0.98		平16年 度改組		
	計		279	—	1,386		1.01	1.00				
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士 (歯学)	1.00	1.00		昭40年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士 (創薬科学)	1.08	1.06		平18年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	薬学科	6	20	—	120	学士 (薬学)	1.07	1.05				
	計		80	—	360		1.07	1.06				

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.01	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)		
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99	1.01		平16年度改組		
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.01	1.02				
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		1.00	1.01				
	計		810	—	3,240		1.01	1.00				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04	1.04		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600		1.04	1.04				
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。												
文学研究科	日本文学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.18	1.24	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			14	—	28		1.31	1.21	令和元			
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.84	0.68	令和元			
			12	—	24		0.95	1.16	令和元			
	総合人間学専攻	5	31	—	62		1.19	1.09	令和元			
			12	—	24		1.08	1.16	令和元			
	文化科学専攻	5	—	—	—		—	—		平11年度改組		
			—	—	—		—	—				
	言語科学専攻	5	—	—	—		—	—		平12年度改組		
			—	—	—		—	—				
歴史科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組				
		—	—	—	—	—						
人間科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組				
		—	—	—	—	—						
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.93	0.91		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
			15	—	45		1.20	1.00				
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.95	0.60		平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度定員変更 (△8)
			12	—	36		0.63	0.66				
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.82	1.04		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号	
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	1.06	1.00				

経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	110	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.80	0.53		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更 (10)
			14	—	54		0.68	0.35				令和2年度定員変更 (△6)
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.87	0.75		平17年度		
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.87	0.89		平7年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
			18	—	54		0.57	0.44				
	物理学専攻	5	91	—	182		0.88	0.84		平6年度改組		
			46	—	138		0.55	0.54				
	天文学専攻	5	9	—	18		1.11	1.22				
			4	—	12		0.66	0.50				
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.01	0.96				
			13	—	39		0.56	0.46				
	化学専攻	5	66	—	132		1.23	1.09		平7年度改組		
			33	—	99		0.55	0.48				
	地学専攻	5	32	—	64		1.19	1.18		平6年度改組		
			16	—	48		0.51	0.37				
医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.16	1.00		平15年度改組	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	平成30年度定員変更 (△2)
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.09	1.01		平9年度改組		
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術) 博士 (障害科学) 博士 (学術)	0.82	0.65		平6年度改組		
			9	—	27	1.14	0.33		平8年度改組			
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術) 博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.20	1.25		平20年度改組		
			12	—	36	1.11	1.00		平22年度改組			
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.15	1.20		平27年度	宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号	令和2年度定員変更 (2)	
歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	14	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	1.06	1.12		平16年度			
歯科学研究科	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.94	0.73		平12年度改組		

薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術) 博士 (薬科学) 博士 (学術)	1.26	1.22	平22年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
			8	—	24		0.66	0.75			
	生命薬科学専攻	5	32	—	64		0.96	0.87			
			10	—	30		0.73	1.00			
	医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.50	0.75	平24年度		
工学部	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.39	1.45	平7年度改組(平16年度改称・平28年度改称)	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
			10	—	30		1.23	1.20			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.10	0.93			
			11	—	33		0.45	0.18			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.88	0.69	平15年度(平28年度改称)		
			11	—	33		0.69	0.36			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.51	1.42	平7年度改組		
			11	—	33		1.05	1.09			
	量子エネルギー工学専攻	5	38	—	76		1.12	1.10	昭33年度(平8年度改称)		
			11	—	33		0.84	0.63			
	電気エネルギーシステム専攻	5	32	—	64		1.18	1.31	平24年度		
			8	—	24		0.29	0.25			
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.43	1.29			
			8	—	24		0.91	0.75			
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.87	0.88	昭28年度		
			15	—	45		0.26	0.20			
	応用物理学専攻	5	32	—	64		0.93	0.78			
			11	—	33		0.72	0.54			
	応用化学専攻	5	26	—	52		0.93	0.76	昭40年度		
			8	—	24		0.70	0.37			
	化学工学専攻	5	34	—	68		1.05	1.05	平4年度(平16年度改称)		
			7	—	21		0.51	0.42			
	バイオ工学専攻	5	19	—	38		1.21	1.21	昭28年度(平16年度改称)		
			5	—	15		0.66	0.60			
	金属フロンティア工学専攻	5	26	—	52		1.18	1.11	昭39年度(昭62年度・平16年度改称)		
			7	—	21		1.09	0.71			
	知能デバイス材料学専攻	5	37	—	74		1.18	1.10	昭44年度(平9年度・平16年度改称)		
			10	—	30		1.16	0.70			
	材料システム工学専攻	5	30	—	60		1.13	1.06	昭38年度		
			8	—	24		0.91	0.75			
	土木工学専攻	5	43	—	86		1.23	1.13	昭38年度(平8年度改称)		
			12	—	36		1.38	1.08			
	都市・建築学専攻	5	45	—	90		1.16	1.15	平14年度		
			8	—	24		1.28	0.87			
	技術社会システム専攻	5	21	—	42		1.11	1.14			
			13	—	39		0.32	0.30			

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.30	1.22		平15年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1		
			13	—	39		0.99	0.76					
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.15	1.08					
			13	—	39		0.50	0.30					
	生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76		1.28	1.36					
			11	—	33		1.14	0.63					
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.90	1.00		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41		
			16	—	48		0.74	0.43					
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.97	1.00		平5年度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号		
			11	—	33		0.57	0.27					
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.24					
			11	—	33		1.26	0.81					
	人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60		0.68	0.56					
			10	—	30		0.80	1.00					
	応用情報科学専攻	5	35	—	70		1.35	1.22					平15年 度
10			—	30	0.66	0.50							
生命科学研究科	脳生命統御科学専 攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.85	0.77		平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号		
			10	—	30		0.50	0.40					平成30
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	70		0.78	0.62					平成30
			10	—	30		0.80	0.60					
	分子化学生物学専 攻	5	35	—	70		1.22	1.22					平成30
			10	—	30		0.70	0.70					
環境科学研究科	先進社会環境学専 攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1		
			13	—	39		1.07	0.38					
	先端環境創成学専 攻	5	60	—	120		0.93	0.91					
			20	—	60		0.60	0.50					
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.17	1.05		平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	平成30年度定員 変更 (2)	
			12	—	36		1.05	1.00					

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜文学研究科 広域文化学専攻 博士前期課程＞

(1) ① 担当教員表

【事前伺い時】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		沼崎 一郎 (59) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅲ 文化人類学研究実習Ⅰ 文化人類学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ 宗教学特論Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学死生学研究演習Ⅱ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		桜井 宗信 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ インド仏教史特論Ⅰ インド仏教史特論Ⅱ インド仏教史特論Ⅲ インド仏教史研究演習Ⅰ インド仏教史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		三浦 秀一 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国思想特論Ⅱ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		川合 安 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 東洋古代中世史特論Ⅰ 東洋古代中世史特論Ⅱ 東洋古代中世史特論Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅰ 東洋史学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		大河内 昌 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 英文学特論Ⅰ 英文学特論Ⅱ 英文学特論Ⅲ 英文学特論Ⅳ 修士論文研究
専 教授		金子 義明 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		英語学特論Ⅱ 英語学特論Ⅳ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅰ 英語学研究演習Ⅲ 修士論文研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		沼崎 一郎 (60) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅲ 文化人類学研究実習Ⅰ 文化人類学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		木村 敏明 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ 宗教学特論Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学死生学研究演習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		桜井 宗信 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ インド仏教史特論Ⅰ インド仏教史特論Ⅱ インド仏教史研究演習Ⅰ インド仏教史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		三浦 秀一 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋文化学特論Ⅱ 中国思想特論Ⅱ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		川合 安 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋古代中世史特論Ⅰ 東洋古代中世史特論Ⅱ 東洋史学研究演習Ⅰ 東洋史学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		大河内 昌 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 英文学特論Ⅰ 英文学特論Ⅱ 英文学特論Ⅲ 英文学特論Ⅳ 修士論文研究
専 教授		金子 義明 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		英語学特論Ⅱ 英語学特論Ⅳ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅰ 英語学研究演習Ⅲ 修士論文研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		沼崎 一郎 (61) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅲ 文化人類学研究実習Ⅰ 文化人類学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		木村 敏明 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		桜井 宗信 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ インド仏教史特論Ⅰ インド仏教史特論Ⅱ インド仏教史研究演習Ⅰ インド仏教史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		三浦 秀一 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国思想特論Ⅱ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		川合 安 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅱ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋古代中世史特論Ⅰ 東洋古代中世史特論Ⅱ 東洋史学研究演習Ⅰ 東洋史学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		大河内 昌 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		英文学特論Ⅰ 英文学特論Ⅱ 英文学特論Ⅲ 英文学特論Ⅳ 修士論文研究
専 教授		金子 義明 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 英語学特論Ⅱ 英語学特論Ⅳ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅰ 英語学研究演習Ⅲ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島 越郎 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 英語学基礎特論Ⅰ 英語学基礎特論Ⅱ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅱ 英語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	森本 浩一 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋文化学特論Ⅰ 西洋文化学特論Ⅱ ドイツ文化学特論Ⅱ 修士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		ドイツ文学特論Ⅰ ドイツ文化学特論Ⅰ ドイツ文学研究演習Ⅰ ドイツ文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (52) ＜平成31年4月＞ Ph. D.（ドイツ）
		ドイツ語学研究演習Ⅰ ドイツ語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 宏 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）
		フランス語学研究演習Ⅰ フランス語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	今井 勉 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ フランス文学特論Ⅰ フランス文学特論Ⅱ フランス文学特論Ⅲ フランス文学特論Ⅳ フランス文学研究演習Ⅰ フランス文学研究演習Ⅱ キャリア設計演習 修士論文研究
専	教授	有光 秀行 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋史特論Ⅰ 西洋史特論Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅰ 西洋古代・中世史研究演習Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅲ 西洋古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島 越郎 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 英語学基礎特論Ⅰ 英語学基礎特論Ⅱ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅱ 英語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	森本 浩一 (62) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋文化学特論Ⅰ 西洋文化学特論Ⅱ ドイツ文化学特論Ⅱ 修士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		ドイツ文学特論Ⅰ ドイツ文学研究演習Ⅰ ドイツ文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (53) ＜平成31年4月＞ Ph. D.（ドイツ）
		ドイツ語学研究演習Ⅰ ドイツ語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 宏 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）
		フランス語学研究演習Ⅰ フランス語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ フランス文学特論Ⅰ フランス文学特論Ⅱ フランス文学特論Ⅲ フランス文学特論Ⅳ フランス文学研究演習Ⅰ フランス文学研究演習Ⅱ キャリア設計演習 修士論文研究
専	教授	有光 秀行 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋史特論Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅰ 西洋古代・中世史研究演習Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅲ 西洋古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	高橋 原 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		死生学特論Ⅰ 死生学特論Ⅱ 実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島 越郎 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		英語学基礎特論Ⅰ 英語学基礎特論Ⅱ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅱ 英語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	森本 浩一 (63) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋文化学特論Ⅰ 西洋文化学特論Ⅱ 修士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		ドイツ文学特論Ⅰ ドイツ文学研究演習Ⅰ ドイツ文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (54) ＜平成31年4月＞ Ph. D.（ドイツ）
		ドイツ語学研究演習Ⅰ ドイツ語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 宏 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）
		フランス語学研究演習Ⅰ フランス語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	今井 勉 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		フランス文学特論Ⅰ フランス文学特論Ⅱ フランス文学特論Ⅲ フランス文学特論Ⅳ フランス文学研究演習Ⅰ フランス文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	有光 秀行 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋史特論Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅰ 西洋古代・中世史研究演習Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅲ 西洋古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	高橋 原 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		死生学特論Ⅰ 死生学特論Ⅱ 実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口（一条）幸大 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		文化人類学特論Ⅳ 文化人類学研究演習Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (45) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l . (ド イ ツ)
		広域文化学総合科目Ⅰ 宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学死生学研究演習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 死生学特論Ⅰ 死生学特論Ⅱ 死生学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅰ 実践宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 人文社会科学研究 修士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅱ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国思想特論Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	土屋 育子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学特論Ⅰ 中国語学中国文学特論Ⅱ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅲ 中国語学中国文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口（一条）幸大 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		文化人類学特論Ⅳ 文化人類学研究演習Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (46) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l . (ド イ ツ)
		広域文化学総合科目Ⅰ 宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学死生学研究演習Ⅱ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 実践宗教学特論Ⅰ 実践宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ 東洋文化学特論Ⅰ 中国思想特論Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	土屋 育子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学特論Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 中国語学中国文学特論Ⅱ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口（一条）幸大 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		文化人類学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (47) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l . (ド イ ツ)
		広域文化学総合科目Ⅰ 宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 実践宗教学特論Ⅰ 実践宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 中国思想特論Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	土屋 育子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学特論Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 中国語学中国文学特論Ⅱ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	馬 晁地 (63) ＜平成32年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	馬 晁地 (64) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）			
		修士論文研究			修士論文研究			
専	准教授	大野 晃嗣 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	大野 晃嗣 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	教授	大野 晃嗣 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅰ 東洋近世史特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅳ 修士論文研究			広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅰ 東洋近世史特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅳ 修士論文研究			東洋文化学特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅰ 東洋近世史特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	大貫 隆史 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	大貫 隆史 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		英語文化論研究演習Ⅰ 英語文化論研究演習Ⅱ 英語文化論研究演習Ⅲ 英語文化論研究演習Ⅳ 修士論文研究			英語文化論研究演習Ⅰ 英語文化論研究演習Ⅱ 英語文化論研究演習Ⅲ 英語文化論研究演習Ⅳ 修士論文研究			広域文化学総合科目Ⅰ 英語文化論研究演習Ⅰ 英語文化論研究演習Ⅱ 英語文化論研究演習Ⅲ 英語文化論研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (47) ＜平成31年4月＞ P h . D .（イギリス）	専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (48) ＜平成31年4月＞ P h . D .（イギリス）	専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (49) ＜平成31年4月＞ P h . D .（イギリス）
		英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ 英文学研究演習Ⅰ 英文学研究演習Ⅱ 英文学研究演習Ⅲ 英文学研究演習Ⅳ 修士論文研究			英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ 英文学研究演習Ⅰ 英文学研究演習Ⅱ 英文学研究演習Ⅲ 英文学研究演習Ⅳ 修士論文研究			英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ 英文学研究演習Ⅰ 英文学研究演習Ⅱ 英文学研究演習Ⅲ 英文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	黒岩 卓 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	黒岩 卓 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		フランス文学研究演習Ⅲ フランス文学研究演習Ⅳ 修士論文研究			フランス文学研究演習Ⅲ フランス文学研究演習Ⅳ 修士論文研究			広域文化学総合科目Ⅰ フランス文学研究演習Ⅲ フランス文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (49) ＜平成31年4月＞ Doctorat（フランス）	専	准教授	MEVEL YANN ERIC (50) ＜平成31年4月＞ Doctorat（フランス）	専	教授	MEVEL YANN ERIC (51) ＜平成31年4月＞ Doctorat（フランス）
		フランス文化学特論Ⅰ フランス語学研究演習Ⅲ フランス語学研究演習Ⅳ 修士論文研究			フランス文化学特論Ⅰ フランス語学研究演習Ⅲ フランス語学研究演習Ⅳ 修士論文研究			フランス文化学特論Ⅰ フランス語学研究演習Ⅲ フランス語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	浅岡 善治 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	専	准教授	浅岡 善治 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		西洋史特論Ⅳ 西洋近現代史研究演習Ⅰ 西洋近現代史研究演習Ⅱ 修士論文研究			西洋史特論Ⅳ 西洋近現代史研究演習Ⅰ 西洋近現代史研究演習Ⅱ 修士論文研究			広域文化学総合科目Ⅱ 西洋史特論Ⅳ 西洋近現代史研究演習Ⅰ 西洋近現代史研究演習Ⅱ 修士論文研究
						専	准教授	張佩茹 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								修士論文研究
						専	准教授	越智 郁乃 (41) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
								文化人類学研究演習Ⅰ 修士論文研究
						専	助教	尾崎 順一郎 (41) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		高橋 章則 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語研究論文作成法
兼任 教授		齋藤 倫明 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任 講師		齋藤 倫明 (63) ＜平成32年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		小林 隆 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任 教授		大木 一夫 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		佐倉 由泰 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		柳原 敏昭 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		安達 宏昭 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		阿子島 香 (62) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		戸島 貴代志 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任 教授		長岡 龍作 (58) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		高橋 章則 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		齋藤 倫明 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 講師		齋藤 倫明 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		小林 隆 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任 教授		大木 一夫 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		佐倉 由泰 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		柳原 敏昭 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		安達 宏昭 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		阿子島 香 (63) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		戸島 貴代志 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任 教授		長岡 龍作 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		高橋 章則 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		小林 隆 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任 教授		大木 一夫 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		佐倉 由泰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		柳原 敏昭 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		安達 宏昭 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		阿子島 香 (64) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任 教授		戸島 貴代志 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任 教授		長岡 龍作 (60) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 恒之 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	岡 洋樹 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋近世史特論Ⅲ
兼任	教授	寺山 恭輔 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		比較文化史学特論Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 恒之 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	教授	坂井 信之 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	岡 洋樹 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋近世史特論Ⅲ
兼任	教授	寺山 恭輔 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		比較文化史学特論Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅱ
兼任	教授	尾崎 彰宏 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 恒之 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (55) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	岡 洋樹 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋近世史特論Ⅲ
兼任	教授	寺山 恭輔 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		比較文化史学特論Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅱ
兼任	教授	尾崎 彰宏 (65) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	浜田 宏 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（社会学）
		キャリア設計演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田中（仙田）重人 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	准教授	片岡 龍 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田（高橋）直美 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	小河原 義朗 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	横溝 博 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	堀 裕 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田中（仙田）重人 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	教授	片岡 龍 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田（高橋）直美 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小河原 義朗 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	横溝 博 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	堀 裕 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	直江 清隆 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	教授	堀尾 喜彦 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	教授	佐藤 茂雄 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	准教授	田中（仙田）重人 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	教授	片岡 龍 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	甲田（高橋）直美 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小河原 義朗 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	横溝 博 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	堀 裕 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	荻原 理 (50) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (49) ＜平成31年4月＞ P h. D.（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 雪野 (57) ＜平成31年4月＞ 修士（学術）
		ドイツ文学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	荻原 理 (51) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (50) ＜平成31年4月＞ P h. D.（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 雪野 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（学術）
		ドイツ文学特論Ⅰ
兼任	准教授	島崎 薫 (34) ＜平成31年4月＞ P h. D.（オーストラリア）
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	村山 達也 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	大村 哲夫 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鹿又 喜隆 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	荻原 理 (52) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (51) ＜平成31年4月＞ P h. D.（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 雪野 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（学術）
		ドイツ文学特論Ⅰ
兼任	准教授	島崎 薫 (35) ＜平成31年4月＞ P h. D.（オーストラリア）
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	村山 達也 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	大村 哲夫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ
兼任	准教授	引野 亨輔 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	高浦 康有 (46) ＜令和2年4月＞ 商学修士
		科学技術社会論実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	BORET PENNELLEN SEBASTIEN (40) ＜平成31年4月＞ P h. D. (イギリス)	兼任	助教	BORET PENNELLEN SEBASTIEN (41) ＜平成31年4月＞ P h. D. (イギリス)			山内 保典 (42) ＜令和2年4月＞ 博士 (心理学)
		文化人類学特論Ⅲ			文化人類学特論Ⅲ			科学技術社会論実践演習
			兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)	兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (38) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)
					日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ			日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	講師	伊藤 敦規 (42) ＜平成31年4月＞ 博士 (社会人類学)						
		文化人類学特論Ⅰ						
兼任	講師	松前 もゆる (48) ＜平成31年4月＞ 博士 (学術)						
		文化人類学特論Ⅱ						
兼任	講師	三木 英 (60) ＜平成31年4月＞ 博士 (人間科学)						
		宗教学特論Ⅲ						
兼任	講師	西村 直子 (48) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)	専	准教授	西村 直子 (49) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)	専	准教授	西村 直子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)
		インド学特論Ⅰ			インド学特論Ⅰ インド学特論Ⅱ インド学研究演習Ⅰ インド学研究演習Ⅱ 修士論文研究			インド学特論Ⅰ インド学特論Ⅱ インド学研究演習Ⅰ インド学研究演習Ⅱ 修士論文研究
		インド学研究演習Ⅱ						
兼任	講師	尾園 絢一 (40) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)						
		インド学特論Ⅱ インド学研究演習Ⅰ						
兼任	講師	川合 康三 (60) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)						
		中国語学中国文学特論Ⅲ						
兼任	講師	小路口 聡 (59) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)						
		中国思想特論Ⅲ						
兼任	講師	山田 雄三 (50) ＜平成31年4月＞ 博士 (文学)						
		英語文化論特論Ⅰ 英語文化論特論Ⅱ 英語学特論Ⅰ 英語学特論Ⅲ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	佐藤 昇 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 西洋史特論Ⅲ			
			兼任	講師	宮宅 潔 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 東洋古代中世史特論Ⅲ			
			兼任	講師	佐藤 研一 (67) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） ドイツ文学特論Ⅱ	兼任	講師	佐藤 研一 (68) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） ドイツ文学特論Ⅱ
			兼任	講師	高山 博 (62) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ） 西洋史特論Ⅰ			
			兼任	講師	新宮 学 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 東洋近世史特論Ⅳ			
			兼任	講師	堂山 基次郎 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） インド学仏教史特論Ⅰ			
			兼任	講師	竹之内 裕文 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 死生学特論Ⅲ	兼任	講師	竹之内 裕文 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 死生学特論Ⅲ
			兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ	兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ
						兼任	講師	石田 慎一郎 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（社会人類学） 文化人類学特論Ⅲ
						兼任	講師	榎崎 寛子 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（学術） 文化人類学特論Ⅳ
						兼任	講師	黒崎 浩行 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（宗教学） 宗教学特論Ⅰ
						兼任	講師	小池 淳一 (56) ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 宗教学特論Ⅲ
						兼任	講師	種村 和史 (56) ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 中国語学中国文学特論Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	永置 青地 (58) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 中国思想特論Ⅲ
						兼任	講師	中井 亜佐子 (53) ＜令和2年4月＞ D. P h i l . (イギリス) 英語文化論特論Ⅱ
						兼任	講師	高橋 将一 (46) ＜令和2年4月＞ P h . D . (アメリカ) 英語学特論Ⅲ
						兼任	講師	明星 聖子 (55) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) ドイツ文化学特論Ⅱ
						兼任	講師	GROISARD JOCELYN (39) ＜令和2年4月＞ P h . D . (フランス) フランス文化学特論Ⅱ
						兼任	講師	秋田 茂 (61) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 西洋史特論Ⅰ
						兼任	講師	大清水 裕 (41) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 西洋史特論Ⅲ
						兼任	講師	佐川 英治 (52) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 東洋古代中世史特論Ⅲ
						兼任	講師	中砂 明徳 (58) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 東洋近世史特論Ⅳ
						兼任	講師	佐久間 秀範 (65) ＜令和2年4月＞ 博士(文学) インド学仏教史特論Ⅰ
						兼任	講師	ANDREWS DALE (51) ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 宗教学死生学研究演習Ⅰ 宗教学死生学研究演習Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字とさせていただきます。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、桜井宗信教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、嶋崎啓教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、有光秀行教授の授業担当科目を削除。
- ・平成31年4月高橋原教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のための担当者増。
- ・担当教員見直しのため、山田仁史准教授の授業担当科目を削除及び追加。
- ・担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、齋藤智寛教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、矢田尚子准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、大野晃嗣准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、齋藤倫明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、大木一夫教授の授業担当科目を削除。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、小泉政利教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月尾崎彰宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。担当教員見直しのため。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐藤雪野講師の授業担当科目を削除及び追加。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月村山達也准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・伊藤敦規講師就任辞退により、片岡樹講師に変更。
- ・松前もゆる講師就任辞退により、相島葉月講師に変更。
- ・三木英講師就任辞退により、山崎亮講師に変更。
- ・平成31年4月西村直子准教授就任（兼任講師から切替）。尾園純一講師就任辞退及び教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・川合康三講師就任辞退により、上原究一講師に変更。
- ・小路口聡講師就任辞退により、末永高康講師に変更。
- ・山田雄三講師就任辞退により、武田将明講師に変更。
- ・土橋善仁講師就任辞退により、西山國雄講師に変更。
- ・廣松勲講師就任辞退により、熊谷謙介講師に変更。
- ・山崎彰講師就任辞退により、佐藤昇講師に変更。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月宮宅潔講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月佐藤研一講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高山博講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月新宮学講師就任。教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月堂山英次郎講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月竹之内裕文講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

【令和２年度】

- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、桜井宗信教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、大河内昌教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、金子義明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、島越郎教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、森本浩一教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、川口（一条）幸大准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、山田仁史准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を削除。
- ・馬喰地兼任講師就任辞退のため、張佩茹准教授に変更。
- ・大野晃嗣准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、大貫隆史准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、黒岩卓准教授の授業担当科目を追加。
- ・MEVEL YANN ERIC准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、浅岡善治准教授の授業担当科目を追加。
- ・令和２年４月越智郁乃准教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のため。
- ・令和２年４月尾崎順一郎助教就任。教育内容の充実のため。
- ・齋藤倫明兼任講師就任辞退のため、大木一夫教授の授業担当科目を追加。「日本学総合科目Ⅱ」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、柳原敏昭教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を追加。
- ・令和２年４月浜田宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和２年４月直江清隆教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和２年４月堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和２年４月佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・甲田（高橋）直美准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、堀裕教授の授業担当科目を削除。
- ・鹿又喜隆准教授を教授に昇任。
- ・荻原理准教授を教授に昇任。
- ・令和２年４月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・令和２年４月高浦康有准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和２年４月山内保典淳教授就任。教育課程の充実のため。
- ・BORET PENMELLEN SEBASTIEN助教退職により、石田慎一郎講師に変更。
- ・山崎亮講師退職により、小池淳一講師に変更。
- ・上原究一講師退職により、種村和史講師に変更。
- ・末永高康講師退職により、永富青地講師に変更。
- ・担当教員見直しのため、武田将明講師の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、西山國雄講師の授業担当科目を削除。
- ・熊谷謙介講師退職により、GROISARD JOCELYN講師に変更。
- ・佐藤昇講師退職により、大清水裕講師に変更。
- ・宮宅潔講師退職により、佐川英治講師に変更。
- ・高山博講師退職により、秋田茂講師に変更。
- ・新宮学講師退職により、中砂明德講師に変更。
- ・堂山英次郎講師退職により、佐久間秀範講師に変更。
- ・令和２年４月嶺崎寛子講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和２年４月黒崎浩行講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和２年４月中井亜佐子講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和２年４月高橋将一講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和２年４月明星聖子講師就任。担当教員見直しのため。
- ・令和２年４月ANDREWS DALE講師就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A´)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B´)
14	12	0	0	26	0	18	12	0	1	31	0
(16)	(13)	(0)	(0)	(29)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
26	0	0				30	1	0			
(29)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C´)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D´)
18	12	0	1	31	0	18	12	0	1	31	0
[4]	[0]	[0]	[1]	[5]	[0]	[4]	[0]	[0]	[1]	[5]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
30	1	0				30	1	0			
[4]	[1]	[0]				[4]	[1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{31}{26} = \boxed{119.23} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）				①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{26} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	馬 暁地	必修	修士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 「修士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。 「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

＜文学研究科 広域文化学専攻 博士後期課程＞

(1) ① 担当教員表

【事前伺い時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (59) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		博士論文研究
専	教授	木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	川合 安 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	大河内 昌 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	金子 義明 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	島 越郎 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	森本 浩一 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		博士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (52) ＜平成31年4月＞ P h. D. (ドイツ)
		博士論文研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (60) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 敏明 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	川合 安 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	大河内 昌 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	金子 義明 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	島 越郎 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	森本 浩一 (62) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		博士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (53) ＜平成31年4月＞ P h. D. (ドイツ)
		博士論文研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (61) ＜平成31年4月＞ P h. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 敏明 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	川合 安 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	大河内 昌 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	金子 義明 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	島 越郎 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	森本 浩一 (63) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		博士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (54) ＜平成31年4月＞ P h. D. (ドイツ)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿部 宏 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）
		博士論文研究
専	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		キャリア設計演習 博士論文研究
専	教授	有光 秀行 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	
専	准教授	川口（一条）幸大 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (45) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l . （ドイツ）
		博士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学研究 博士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	土屋 育子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	馬 暁地 (63) ＜平成32年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿部 宏 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）
		博士論文研究
専	教授	今井 勉 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 キャリア設計演習 博士論文研究
専	教授	有光 秀行 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	高橋 原 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	川口（一条）幸大 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (46) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l . （ドイツ）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	土屋 育子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	馬 暁地 (64) ＜令和2年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿部 宏 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（情報科学）
		博士論文研究
専	教授	今井 勉 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	有光 秀行 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	高橋 原 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	川口（一条）幸大 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (47) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l . （ドイツ）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	土屋 育子 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	
専	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (47) ＜平成31年4月＞ P h. D.（イギリス）
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (49) ＜平成31年4月＞ Doctorat（フランス）
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本語研究論文作成法
兼任	教授	小林 隆 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (48) ＜平成31年4月＞ P h. D.（イギリス）
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (50) ＜平成31年4月＞ Doctorat（フランス）
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	西村 直子 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 晃嗣 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (49) ＜平成31年4月＞ P h. D.（イギリス）
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	MEVEL YANN ERIC (51) ＜平成31年4月＞ Doctorat（フランス）
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	西村 直子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	越智 郁乃 (41) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		博士論文研究
専	准教授	張 佩茹 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (58) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	戸島 貴代志 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	小河原 義朗 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	小松 文晃 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	戸島 貴代志 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	阿部 恒之 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (55) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	小松 文晃 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	片岡 龍 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	永井 彰 (60) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	教授	大森 美香 (57) ＜令和2年4月＞ P h . D . (アメリカ)
								人文社会科学特別科目
						兼任	教授	浜田 宏 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（社会学）
								キャリア設計演習
						兼任	教授	直江 清隆 (58) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								科学技術社会論実践演習
						兼任	教授	堀尾 喜彦 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
								科学技術社会論実践演習
						兼任	教授	佐藤 茂雄 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
								科学技術社会論実践演習
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) ＜平成31年4月＞ P h . D . (アメリカ)	兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) ＜平成31年4月＞ P h . D . (アメリカ)	兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) ＜平成31年4月＞ P h . D . (アメリカ)
		英語発表技能演習			人文社会科学特別科目 英語発表技能演習			人文社会科学特別科目 英語発表技能演習
兼任	准教授	荻原 理 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D . (アメリカ)	兼任	准教授	荻原 理 (52) ＜平成31年4月＞ P h . D . (アメリカ)	兼任	教授	荻原 理 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D . (アメリカ)
		西洋古典文化特論			西洋古典文化特論			西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (49) ＜平成31年4月＞ P h . D . (ドイツ)	兼任	准教授	原 望 (50) ＜平成31年4月＞ P h . D . (ドイツ)	兼任	准教授	原 望 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D . (ドイツ)
		研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	辻本 昌弘 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論			研究倫理特論			研究倫理特論
			兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	籠橋 俊光 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	大村 哲夫 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	大村 哲夫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ			人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ
						兼任	准教授	杉本 欣久 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								人文社会科学特別科目

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、沼崎一郎教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月高橋原教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、山田仁史准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員の見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・平成31年4月西村直子准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月小河原義朗教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月小松丈晃教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月籠橋俊光准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・馬曉地兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・大野晃嗣准教授を教授に昇任。
- ・MEVEL YANN ERIC准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月越智郁乃准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・令和2年4月張佩茹准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・令和2年4月片岡龍教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月永井彰教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月大森美香教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月浜田宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月直江清隆教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・萩原理准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月杉本欣久准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
14	12	0	0	26	0	18	12	0	0	30	0
(16)	(13)	(0)	(0)	(35)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
26	0	0				30	0	0			
(29)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
18	12	0	0	30	0	18	12	0	0	30	0
[4]	[0]	[0]	[0]	[4]	[0]	[4]	[0]	[0]	[0]	[4]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			
30	0	0				30	0	0			
[4]	[0]	[0]									

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{26} = \boxed{115.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{26} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	馬 暁地	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 「博士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。 「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学研究科 広域文化学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日としており、令和元年度は年間19回開催した。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席した。

<コンプライアンス推進委員会>

不定期開催としており、令和元年度は開催しなかった。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄、を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

② 実施状況

a 実施内容

令和元年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの受講を促すとともに、「研究倫理・研究不正防止FD」を10/17に実施した。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「教育に関するFD」を1/16に実施した。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させた。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に促した。

b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは 一般財団法人公正研究推進協会が提供するeラーニング教材を利用して実施した。

FDは高度教養教育・学生支援機構から講師を派遣してもらい、講義形式で実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時、FDは各年1回を予定。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「教育に関するFD」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和２年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和３年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人東北大学

(2) 大 学 名

東北大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内27番1号

(〒980-8577

宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)	(ヤナギハラ トシアキ) 柳原 敏昭 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年 4月1日付けで変更 (2)
専攻長	(ナガオカ リュウサク) 長岡 龍作 (平成31年4月)	(ナガイ アキラ) 永井 彰 (令和2年4月)	任期満了のため令和2年 4月1日付けで変更 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 総合人間学専攻 (博士前期課程) 修士(文学) 修士(学術)	文学関係	2年	31人	— 年次人	62人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	31 (—) [—]	—	31 (—) [—]	—	1.19倍	—	
志願者数	64 (0) [40]	— (—) [—]	63 (0) [35]	— (—) [—]			
受験者数	61 (0) [38]	— (—) [—]	59 (0) [34]	— (—) [—]			
合格者数	43 (0) [24]	— (—) [—]	37 (0) [19]	— (—) [—]			
B 入学者数	40 (0) [23]	— (—) [—]	34 (0) [18]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	1.29		1.09				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	40 [23] (-)	— [—] (-)	34 [18] (-)	— [—] (-)	
2 年次			40 [23] (-)	— [—] (-)	
計			74 [41] (-)		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	40 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	74 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 総合人間学専攻 (博士後期課程) 博士(文学) 博士(学術)	文学関係	3年	12人	— 年次人	36人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から報 告年度までの平 均入学定員超過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人 12 (－) [－]		人 人 12 (－) [－]		人 人 () []		1.08倍	－	
志願者数	16 (0) [5]	－ (－) [－]	18 (0) [9]	－ (－) [－]	() []	() []			
受験者数	16 (0) [5]	－ (－) [－]	18 (0) [9]	－ (－) [－]	() []	() []			
合格者数	12 (0) [3]	－ (－) [－]	16 (0) [7]	－ (－) [－]	() []	() []			
B 入学者数	12 (0) [3]	－ (－) [－]	14 (0) [6]	－ (－) [－]	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.16						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	12 [3] (一)	— [—] (一)	14 [6] (一)	— [—] (一)	[] [] ()	[] [] ()	
2 年次			12 [3] (一)	— [—] (一)	[] [] ()	[] [] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	
計	12 [3] (一)		26 [9] (一)		[] ()		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	12 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	26 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学研究科 総合人間学専攻 博士前期課程>

(1) ー① 授業科目表

【事前伺い時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼12
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼13
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前	2			5	2				
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後	2			3	1				
	小計（6科目）	—	4	4	4	6	3				兼34
特 論	哲学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	哲学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	哲学特論Ⅲ	1前		2			1				
	哲学特論Ⅳ	1後		2							兼1
	生命環境倫理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	倫理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	倫理学特論Ⅱ	1後		2		1					
	倫理学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅱ	1後		2			1				
	東洋・日本美術史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	美学特論Ⅰ	1後		2			1				
	美学・西洋美術史特論Ⅰ	1前		2							兼1
	美学・西洋美術史特論Ⅱ	1後		2							兼1
	芸術学特論Ⅰ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅱ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅲ	1後		2		1					
	実験心理学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	社会心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会心理学特論Ⅱ	1後		2			1				
	心理学特論Ⅰ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅰ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅱ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅲ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅳ	1後		2			1				
	学習・言語心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	理論社会学特論Ⅰ	1後		2		1					
	理論社会学特論Ⅱ	1後		2		1					
	社会変動学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会変動学特論Ⅱ	1前		2		1					
	社会学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	社会行動科学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会行動科学特論Ⅱ	1後		2			1				
	計算人文社会学特論Ⅰ	1前		2		1					
	小計（37科目）	—		74		11	8				兼11

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼14
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼16
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼15
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前	2			6	1				
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後	2			6	2				
	小計（6科目）	—	4	4	4	10	3				兼35
特 論	哲学特論Ⅰ	1前		2			1				
	哲学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	哲学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	哲学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	生命環境倫理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	倫理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	倫理学特論Ⅱ	1後		2		1					
	倫理学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅱ	1前		2			1				
	東洋・日本美術史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅳ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅴ	1後		2			1				
	美学特論Ⅰ	1後		2			1				
	美学・西洋美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	美学・西洋美術史特論Ⅱ	1後		2		1					
	芸術学特論Ⅰ	1後		2		1					
	実験心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	実験心理学特論Ⅱ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅲ	1後		2		1					
	実験心理学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	社会心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会心理学特論Ⅱ	1後		2			1				
	心理学特論Ⅰ	1後		2							兼1
	言語学特論Ⅰ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅱ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	言語学特論Ⅳ	1後		2							兼1
	学習・言語心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	理論社会学特論Ⅰ	1後		2		1					
	理論社会学特論Ⅱ	1後		2		1					
	社会変動学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会変動学特論Ⅱ	1前		2			1				
	社会学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	社会行動科学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会行動科学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	計算人文社会学特論Ⅰ	1前		2			1				
	小計（39科目）	—		78		11	10				兼15

総合演習	哲学総合演習Ⅰ	1前	2	1	3			
	哲学総合演習Ⅱ	1後	2	1	3			
	倫理学総合演習Ⅰ	1前	2	1	1			
	倫理学総合演習Ⅱ	1後	2	1	1			
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2	2	2			
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2	2	2			
	言語学総合演習Ⅰ	1前	2	2	1			
	言語学総合演習Ⅱ	1後	2	2	1			
	小計（8科目）	—	16	6	7			
研究演習	哲学研究演習Ⅰ	1前	2					兼1
	哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	古代中世哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	古代中世哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	近代哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	近代哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	現代哲学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	現代哲学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	科学哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	科学哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	生命環境倫理学研究演習Ⅰ	1後	2	1				
	倫理学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	倫理学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	倫理学研究演習Ⅲ	1前	2		1			
	倫理学研究演習Ⅳ	1後	2		1			
	東洋・日本美術史研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	美学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	実験心理学研究演習Ⅰ	1後	2					兼1
	実験心理学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	実験心理学研究演習Ⅲ	1前	2	1				
	実験心理学研究演習Ⅳ	1後	2					兼1
	社会心理学研究演習Ⅰ	1後	2		1			
	社会心理学研究演習Ⅱ	1前	2		1			
	言語学研究演習Ⅰ	1後	2	1				
	言語学研究演習Ⅱ	1前	2	1				
	言語学研究演習Ⅲ	1後	2		1			
	社会学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	社会変動学研究演習Ⅰ	1前	2					兼1
	社会変動学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅰ	1・2前	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅱ	1・2後	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅲ	1・2前	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅳ	1・2後	2	1				
	数理行動科学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	数理行動科学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	数理行動科学研究演習Ⅲ	1前	2	1				
	数理行動科学研究演習Ⅳ	1後	2	1				
	計量行動科学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	計量行動科学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	計量行動科学研究演習Ⅲ	1前	2		1			
	計量行動科学研究演習Ⅳ	1後	2		1			
	計算人文社会学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	計算人文社会学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	小計（46科目）	—	92	13	10			兼3

総合演習	哲学総合演習Ⅰ	1前	2	2	2			
	哲学総合演習Ⅱ	1後	2	2	2			
	倫理学総合演習Ⅰ	1前	2	1	1			
	倫理学総合演習Ⅱ	1後	2	1	1			
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2	2	3			
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2	2	3			
	言語学総合演習Ⅰ	1前	2	2	1			兼1
	言語学総合演習Ⅱ	1後	2	2	1			
	小計（8科目）	—	16	7	7			兼1
研究演習	哲学研究演習Ⅰ	1後	2		1			
	哲学研究演習Ⅱ	1前	2					兼1
	哲学研究演習Ⅲ	1前	2		1			
	哲学研究演習Ⅳ	1後	2		1			
	古代中世哲学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	古代中世哲学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	近代哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	近代哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	現代哲学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	現代哲学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	科学哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	科学哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	生命環境倫理学研究演習Ⅰ	1後	2	1				
	倫理学研究演習Ⅰ	1後	2	1				
	倫理学研究演習Ⅱ	1前	2	1				
	倫理学研究演習Ⅲ	1前	2		1			
	倫理学研究演習Ⅳ	1後	2		1			
	倫理学研究演習Ⅴ	1前	2		1			
	倫理学研究演習Ⅵ	1後	2		1			
	東洋・日本美術史研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	美学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	実験心理学研究演習Ⅰ	1後	2		1			
	実験心理学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	実験心理学研究演習Ⅲ	1前	2	1				
	実験心理学研究演習Ⅳ	1後	2					兼1
	社会心理学研究演習Ⅰ	1後	2		1			
	社会心理学研究演習Ⅱ	1前	2		1			
	言語学研究演習Ⅰ	1後	2	1				
	言語学研究演習Ⅱ	1前	2	1				
	言語学研究演習Ⅲ	1後	2		1			
	社会学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	社会変動学研究演習Ⅰ	1前	2					兼1
	社会変動学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	理論社会学研究演習Ⅰ（未開講）	1・2前	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅱ（未開講）	1・2後	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅲ	1・2前	2	1				
	理論社会学研究演習Ⅳ	1・2後	2	1				
	数理行動科学研究演習Ⅰ	1前	2	1	1			
	数理行動科学研究演習Ⅱ	1後	2	1	1			
	数理行動科学研究演習Ⅲ	1前	2	1				
	数理行動科学研究演習Ⅳ	1後	2	1				
	計量行動科学研究演習Ⅰ	1前	2	1				
	計量行動科学研究演習Ⅱ	1後	2	1				
	計量行動科学研究演習Ⅲ	1前	2		1			
	計量行動科学研究演習Ⅳ	1後	2		1			
	計算人文社会学研究演習Ⅰ	1前	2		1			
	計算人文社会学研究演習Ⅱ	1後	2		1			
	小計（50科目）	—	100	14	12			兼3

研究 実習	心理学研究実習Ⅰ	1前		2		2	2						
	心理学研究実習Ⅱ	1後		2		2	2						
	社会学研究実習Ⅰ	1前		2		2							
	社会学研究実習Ⅱ	1後		2		2							
	小計（4科目）	—		8		4	2						
ス キ ル 科 目	研究倫理特論	1前		2		5	2						兼1
	西洋古典文化特論	1後		2									兼1
	人文社会科学研究	1前		2			1						兼1
	英語発表技能演習	1後		2									兼1
	英語研究論文作成法	1前		2									兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2									兼1
	人文統計基礎演習	1後		2									兼1
	キャリア設計演習	1後		2		1							
	小計（8科目）	—		16		6	3						兼6
学 術 実 践 活 動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2		1							
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2		1							
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2		1							
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2		1							
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2		1							
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2		1							
	小計（6科目）	—		12		1							
論 文 研 究	修士論文研究	1・2通	8			13	10						兼1
	小計（1科目）	—	8			13	10						兼1
合計（116科目）			—	12	222	4	13	10					兼57
修了要件及び履修方法													
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、総合人間学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。													

研究 実習	心理学研究実習Ⅰ	1前		2		2	3						
	心理学研究実習Ⅱ	1後		2		2	3						
	社会学研究実習Ⅰ	1前		2			1						
	社会学研究実習Ⅱ	1後		2			1						
	小計（4科目）	—		8		2	4						
ス キ ル 科 目	研究倫理特論	1前		2		5	2						兼1
	西洋古典文化特論	1後		2		1							
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2									兼1
	英語発表技能演習	1後		2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2									兼1
	人文統計基礎演習	1前		2		1							
	キャリア設計演習	1後		2		1							
	科学技術社会論実践演習	1前		2		1							兼4
	小計（14科目）	—		28		8	2						兼10
学 術 実 践 活 動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2		1							
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2		1							
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2		1							
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2		1							
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2		1							
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2		1							
	小計（6科目）	—		12		1							
論 文 研 究	修士論文研究	1・2通	8			15	12						
	小計（1科目）	—	8			15	12						
合計（128科目）			—	12	246	4	15	12					兼60
修了要件及び履修方法													
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、総合人間学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。													

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼13
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼15
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前	2			5	2				
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後	2			6	2				
	小計（6科目）	—	4	4	4	9	4				兼33
特論	哲学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	哲学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	哲学特論Ⅲ	1前		2		1	2				
	哲学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	生命環境倫理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	倫理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	倫理学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	倫理学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅱ	1前		2			1				
	東洋・日本美術史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅳ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅴ	1後		2			1				
	美学特論Ⅰ	1後		2			1				
	美学・西洋美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	美学・西洋美術史特論Ⅱ	1後		2		1					
	芸術学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	実験心理学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	実験心理学特論Ⅱ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅲ	1後		2		1					
	実験心理学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	社会心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会心理学特論Ⅱ	1後		2			1				
	心理学特論Ⅰ	1後		2							兼1
	言語学特論Ⅰ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅱ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	言語学特論Ⅳ	1後		2							兼1
	学習・言語心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	理論社会学特論Ⅰ	1後		2		1					
	理論社会学特論Ⅱ	1後		2		1					
	社会変動学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会変動学特論Ⅱ	1前		2			1				
	社会学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	社会行動科学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会行動科学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	計算人文社会学特論Ⅰ	1前		2			1				
	小計（39科目）	—		78		9	11				兼17

総合演習	哲学総合演習Ⅰ	1前		2		1	2				
	哲学総合演習Ⅱ	1後		2		1	2				
	倫理学総合演習Ⅰ	1前		2		1	1				
	倫理学総合演習Ⅱ	1後		2		1	1				
	心理学総合演習Ⅰ	1前		2		2	2				
	心理学総合演習Ⅱ	1後		2		2	2				
	言語学総合演習Ⅰ	1前		2		2	1				
	言語学総合演習Ⅱ	1後		2		2	1				
	小計（8科目）	—		16		6	6				
研究演習	哲学研究演習Ⅰ	1前		2							兼1
	哲学研究演習Ⅱ	1後		2			1				
	古代中世哲学研究演習Ⅰ	1前		2			1				
	古代中世哲学研究演習Ⅱ	1後		2			1				
	近代哲学研究演習Ⅰ	1前		2			1				
	近代哲学研究演習Ⅱ	1後		2			1				
	現代哲学研究演習Ⅰ	1前		2		1					
	現代哲学研究演習Ⅱ	1後		2		1					
	科学哲学研究演習Ⅰ	1前		2			1				
	科学哲学研究演習Ⅱ	1後		2		1					
	生命環境倫理学研究演習Ⅰ	1後		2		1					
	倫理学研究演習Ⅰ	1前		2		1					
	倫理学研究演習Ⅱ	1後		2		1					
	倫理学研究演習Ⅲ	1前		2			1				
	倫理学研究演習Ⅳ	1後		2			1				
	倫理学研究演習Ⅴ	1前		2			1				
	倫理学研究演習Ⅵ	1後		2			1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅰ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史研究演習Ⅱ	1後		2			1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	1前		2		1					
	美学・西洋美術史研究演習Ⅱ	1後		2		1					
	美学研究演習Ⅰ	1前		2			1				
	実験心理学研究演習Ⅰ	1後		2							兼1
	実験心理学研究演習Ⅱ	1後		2		1					
	実験心理学研究演習Ⅲ	1前		2		1					
	実験心理学研究演習Ⅳ	1後		2							兼1
	社会心理学研究演習Ⅰ	1後		2			1				
	社会心理学研究演習Ⅱ	1前		2			1				
	言語学研究演習Ⅰ	1後		2		1					
	言語学研究演習Ⅱ	1前		2		1					
	言語学研究演習Ⅲ	1後		2			1				
	社会学研究演習Ⅰ	1前		2		1					
	社会変動学研究演習Ⅰ	1前		2							兼1
	社会変動学研究演習Ⅱ	1後		2			1				
	理論社会学研究演習Ⅰ	1・2前		2		1					
	理論社会学研究演習Ⅱ	1・2後		2		1					
	理論社会学研究演習Ⅲ（未開講）	1・2前		2		1					
	理論社会学研究演習Ⅳ（未開講）	1・2後		2		1					
	数理行動科学研究演習Ⅰ	1前		2		1	1				
	数理行動科学研究演習Ⅱ	1後		2		1	1				
	数理行動科学研究演習Ⅲ	1前		2		1					
	数理行動科学研究演習Ⅳ	1後		2		1					
	計量行動科学研究演習Ⅰ	1前		2		1					
	計量行動科学研究演習Ⅱ	1後		2		1					
	計量行動科学研究演習Ⅲ	1前		2			1				
	計量行動科学研究演習Ⅳ	1後		2			1				
	計算人文社会学研究演習Ⅰ	1前		2			1				
	計算人文社会学研究演習Ⅱ	1後		2			1				
	小計（48科目）	—		96		13	11				兼4

研究実習	心理学研究実習Ⅰ	1前		2		2	2				
	心理学研究実習Ⅱ	1後		2		2	2				
	社会学研究実習Ⅰ	1前		2		2	1				
	社会学研究実習Ⅱ	1後		2		2	1				
	小計（4科目）	—		8		4	3				
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2				兼1
	西洋古典文化特論	1後		2			1				
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2		1					兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2		1					兼1
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2		1					
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計（13科目）	—		26		6	3				兼7
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2		1					
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2		1					
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2		1					
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2		1					
	小計（6科目）	—		12		1					
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			14	12				兼1
	小計（1科目）	—	8			14	12				兼1
合計（125科目）		—	12	240	4	14	12				兼56

修了要件及び履修方法

修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、総合人間学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１２」から「兼１３」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１３」から「兼１５」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「総合人間学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３、准教授１」から「教授６、准教授２」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「哲学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１、准教授２」に変更。
- ・教育効果向上のため、「哲学特論Ⅳ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「倫理学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「東洋・日本美術史特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「東洋・日本美術史特論Ⅳ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「東洋・日本美術史特論Ⅴ」を新設。
- ・担当教員見直しのため、「美学・西洋美術史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「美学・西洋美術史特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「芸術学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「実験心理学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「心理学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「言語学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「言語学特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「社会変動学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「社会行動科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「計算人文社会学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「哲学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授２」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「哲学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授２」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「科学哲学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「倫理学研究演習Ⅴ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「倫理学研究演習Ⅵ」を新設。
- ・担当教員見直しのため、「社会変動学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授１名採用のため、「数理行動科学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授１」を追加。
- ・准教授１名採用のため、「数理行動科学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授１」を追加。
- ・担当教員見直しのため、「計算人文社会学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「計算人文社会学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授１名採用のため、「社会学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授１」を追加。
- ・准教授１名採用のため、「社会学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授１」を追加。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教授１名及び准教授２名採用のため、「修士論文研究」の専任教員等の配置を「教授１３、准教授１０」から「教授１４、准教授１２」に変更。

【令和２年度】

- ・教育内容の充実のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１３」から「兼１４」に変更。
- ・兼任講師１名就任辞退のため、「日本学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１７」から「兼１６」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「総合人間学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授５、准教授２」から「教授６、准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「哲学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「哲学特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「哲学特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「教授１、准教授２」から「兼１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「倫理学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「倫理学特論Ⅲ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「芸術学特論Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・講師１名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「実験心理学特論Ⅰ」の専任教員等の配置「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授１名専任から兼任に切替のため、「社会行動科学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「社会行動科学特論Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・准教授から教授への昇任及び教育内容の充実のため、「哲学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１、准教授２」から「教授２、准教授２」に変更。
- ・准教授から教授への昇任及び教育内容の充実のため、「哲学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１、准教授２」から「教授２、准教授２」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「心理学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授２」から「教授２、准教授３」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「心理学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授２」から「教授２、准教授３」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「言語学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「兼１」を追加。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「哲学研究演習Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に、専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「哲学研究演習Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に、専任教員等の配置を「准教授１」から「兼１」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「哲学研究演習Ⅲ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「哲学研究演習Ⅳ」を新設。
- ・准教授から教授への昇任のため、「古代中世哲学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「古代中世哲学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「科学哲学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・教育効果向上のため、「倫理学研究演習Ⅰ」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「倫理学研究演習Ⅱ」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
- ・講師１名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「実験心理学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「社会学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「心理学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授３」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「心理学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授３」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「社会学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授１」から「准教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「社会学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２、准教授１」から「准教授１」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「西洋古典文化特論」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」の専任教員等の配置から「教授１」を削除。
- ・担当教員見直しのため「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置から「教授１」を削除。
- ・担当教員見直しのため、「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
- ・准教授から教授への昇任、准教授１名採用、講師１名兼任から専任に切替及び准教授への昇任、兼任講師１名就任辞退並びに担当教員見直しのため、「修士論文研究」の専任教員等の配置を「教授１４、准教授１２、兼１」から「教授１５、准教授１２」に変更。

- (注) ・ ２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

(２) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
3 科目	111 科目	2 科目	116 科目	3 科目	123 科目 [12]	2 科目	128 科目 [12]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	理論社会学研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
2	理論社会学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和2年度非開講）
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである。学生には在学期間中の履修機会を確保しているので、教育上の問題はない。

「学生への周知方法」
学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{116} = \boxed{1.72} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<文学研究科 総合人間学専攻 博士後期課程>

(1) ① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1					兼2
	小計（1科目）	—	2			1					兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2				兼1
	西洋古典文化特論	1後		2			1				
	人文社会科学研究	1前		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法	1前		2							兼1
	人文統計基礎演習	1後		2		1					
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計（8科目）	—		16		6	3				兼6
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	小計（6科目）	—		12		1					
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			11	10				兼3
	小計（1科目）	—	8			11	10				兼3
合計（16科目）			—	10	28		11	10			兼11
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	1				兼11
	小計（1科目）	—	2			3	1				兼11
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2				兼1
	西洋古典文化特論	1後		2			1				
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2							兼1
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2		1					
	キャリア設計演習	1後		2			1				
	科学技術社会論実践演習	1前		2			1				兼4
	小計（14科目）	—		28		8	2				兼10
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	小計（6科目）	—		12		1					
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			13	12				兼2
	小計（1科目）	—	8			13	12				兼2
合計（22科目）			—	10	40		13	12			兼21
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			5					兼10
	小計（1科目）	—	2			5					兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2				兼1
	西洋古典文化特論	1後		2			1				
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2		1					兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2		1					兼1
	英語発表技能演習	1後		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2							兼1
	人文統計基礎演習	1前		2		1					
	キャリア設計演習	1後		2							兼1
	小計（13科目）	—		26		6	3				兼7
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通		2		1					
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通		2		1					
	小計（6科目）	—		12		1					
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			12	12				兼3
	小計（1科目）	—	8			12	12				兼3
合計（21科目）		—	10	38		12	12				兼17
修了要件及び履修方法											
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動（選択必修）2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。											

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授5、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教授1名及び准教授2名採用のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授11、准教授10」から「教授12、准教授12」に変更。

【令和2年度】

- ・担当教員見直しのため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授5、兼10」から「教授3、准教授1、兼11」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、西洋古典文化特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」及び「日本語・日本文化論特論Ⅱ」の専任教員等の配置から「教授1」を削除。
- ・担当教員見直しのため、「キャリア設計演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「科学技術社会論実践演習」を新設。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名退職、准教授2名採用及び兼任講師1名就任辞退のため、「博士論文研究」の専任教員等の配置を「教授12、准教授12、兼3」から「教授13、准教授12、兼2」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2科目	14科目	0科目	16科目	2科目 [0]	20科目 [6]	0科目 [0]	22科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	購入のため(2)		
	校 舎 敷 地	21,917,049㎡ 21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,917,049㎡ 21,915,365㎡			
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡			
	小 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部取り壊しのため(2)			
	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ (1,121,513㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	12 室	16 室	13 室	1 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員採用のため(2)		
	文学研究科総合人間学専攻			27 26 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能な ため、大学全体の数 図書等購入及び視聴覚資料等 廃棄のため(2)
	文学研究科総合 人間学専攻	4,180,950 [1,974,780] 4,168,468 [1,974,876] (4,180,950 [1,974,780]) (4,168,468 [1,974,876])	86,599 [42,652] 86,198 [42,422] (86,599 [42,652]) (86,198 [42,422])	13,543 [13,528] 13,287 [13,272] (13,543 [13,528]) (13,287 [13,272])	7,429 8,242 (7,429) (8,242)	46,462 45,198 (46,462) (45,198)	2,432,337 2,432,339 (2,432,337) (2,432,339)	
	計	4,180,950 [1,974,780] 4,168,468 [1,974,876] (4,180,950 [1,974,780]) (4,168,468 [1,974,876])	86,599 [42,652] 86,198 [42,422] (86,599 [42,652]) (86,198 [42,422])	13,543 [13,528] 13,287 [13,272] (13,543 [13,528]) (13,287 [13,272])	7,429 8,242 (7,429) (8,242)	46,462 45,198 (46,462) (45,198)	2,432,337 2,432,339 (2,432,337) (2,432,339)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 一部改修中のため(2)	
	37,050㎡ 45,481㎡		2,554席 2,885席		3,914,722冊 4,328,122冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,024㎡		武道場					
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当り 研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学										備 考
既設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入 学定員 超過率	令和2 年度入 学定員 超過率	定員変更 年度（AC 期間の学 科のみ）	開設 年度	所 在 地	
文学部		年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
	人文社会学科	4	210	—	840	学士 (文学)	1.05	1.05		平9年度 改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士 (教育学)	1.05	1.07		平10年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
法学部	法学科	4	160	—	640	学士 (法学)	1.05	1.04		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次 10	540	学士 (経済学)	1.04	1.03		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
	経営学科	4	130	3年次 10	540					昭43年 度		
	計		260	20	1,080							
理学部	数学科	4	45	—	180	学士 (理学)	0.97	0.97		昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年 度改組・統 合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年 度改組		
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.00		平7年 度改組・統 合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120		1.01	1.02		平4年 度改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80					平4年 度改組(平 20年 度改称)		
	生物学科	4	40	—	160		1.03	1.05		昭24年 度		
	計		324	—	1,296		1.01	1.00				
医学部	医学科	6	116	—	791	学士 (医学)	1.01	1.01	令和2	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	令和2年度定員変 更 (11)
	保健学科	4	144	—	576	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.00	0.98		平16年 度改組		
	計		279	—	1,386		1.01	1.00				
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士 (歯学)	1.00	1.00		昭40年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士 (創薬科学)	1.08	1.06		平18年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
	薬学科	6	20	—	120	学士 (薬学)	1.07	1.05				
	計		80	—	360		1.07	1.06				

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.01	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)		
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99	1.01	平16年度改組			
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.01	1.02				
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		1.00	1.01				
	計		810	—	3,240		1.01	1.00				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04	1.04		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600		1.04	1.04				
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。												
文学研究科	日本文学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.18	1.24	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			14	—	28		1.31	1.21	令和元			
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.84	0.68	令和元			
			12	—	24		0.95	1.16	令和元			
	総合人間学専攻	5	31	—	62		1.19	1.09	令和元			
			12	—	24		1.08	1.16	令和元			
	文化科学専攻	5	—	—	—		—	—		平11年度改組		
			—	—	—		—	—				
	言語科学専攻	5	—	—	—		—	—		平12年度改組		
			—	—	—		—	—				
歴史科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組				
		—	—	—	—	—						
人間科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組				
		—	—	—	—	—						
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.93	0.91	平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号		
			15	—	45		1.20	1.00				平成30
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.95	0.60	平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度定員変更 (△8)	
			12	—	36		0.63	0.66				
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.82	1.04	平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号		
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	1.06	1.00				

経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	110	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.80	0.53		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更 (10)
			14	—	54	0.68	0.35			令和2年度定員変更 (△6)		
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.87	0.75		平17年度		
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.87	0.89		平7年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
			18	—	54		0.57	0.44				
	物理学専攻	5	91	—	182		0.88	0.84		平6年度改組		
			46	—	138		0.55	0.54				
	天文学専攻	5	9	—	18		1.11	1.22				
			4	—	12		0.66	0.50				
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.01	0.96				
			13	—	39		0.56	0.46				
	化学専攻	5	66	—	132		1.23	1.09		平7年度改組		
			33	—	99		0.55	0.48				
	地学専攻	5	32	—	64		1.19	1.18		平6年度改組		
			16	—	48		0.51	0.37				
医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.16	1.00		平15年度改組	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	平成30年度定員変更 (△2)
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.09	1.01		平9年度改組		
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術) 博士 (障害科学) 博士 (学術)	0.82	0.65		平6年度改組		
			9	—	27	1.14	0.33		平8年度改組			
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術) 博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.20	1.25		平20年度改組		
			12	—	36	1.11	1.00		平22年度改組			
	公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.15	1.20		平27年度		
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	14	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	1.06	1.12		平16年度	宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号	令和2年度定員変更 (2)
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.94	0.73		平12年度改組		

薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術) 博士 (薬科学) 博士 (学術)	1.26	1.22	平22年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
			8	—	24		0.66	0.75			
	生命薬科学専攻	5	32	—	64		0.96	0.87			
			10	—	30		0.73	1.00			
	医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.50	0.75	平24年度		
工学部	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.39	1.45	平7年度改組(平16年度改称・平28年度改称)	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	
			10	—	30		1.23	1.20			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.10	0.93			
			11	—	33		0.45	0.18			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.88	0.69	平15年度(平28年度改称)		
			11	—	33		0.69	0.36			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.51	1.42	平7年度改組		
			11	—	33		1.05	1.09			
	量子エネルギー工学専攻	5	38	—	76		1.12	1.10	昭33年度(平8年度改称)		
			11	—	33		0.84	0.63			
	電気エネルギーシステム専攻	5	32	—	64		1.18	1.31	平24年度		
			8	—	24		0.29	0.25			
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.43	1.29			
			8	—	24		0.91	0.75			
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.87	0.88	昭28年度		
			15	—	45		0.26	0.20			
	応用物理学専攻	5	32	—	64		0.93	0.78			
			11	—	33		0.72	0.54			
	応用化学専攻	5	26	—	52		0.93	0.76	昭40年度		
			8	—	24		0.70	0.37			
	化学工学専攻	5	34	—	68		1.05	1.05	平4年度(平16年度改称)		
			7	—	21		0.51	0.42			
	バイオ工学専攻	5	19	—	38		1.21	1.21	昭28年度(平16年度改称)		
			5	—	15		0.66	0.60			
	金属フロンティア工学専攻	5	26	—	52		1.18	1.11	昭39年度(昭62年度・平16年度改称)		
			7	—	21		1.09	0.71			
	知能デバイス材料学専攻	5	37	—	74		1.18	1.10	昭44年度(平9年度・平16年度改称)		
			10	—	30		1.16	0.70			
	材料システム工学専攻	5	30	—	60		1.13	1.06	昭38年度		
			8	—	24		0.91	0.75			
	土木工学専攻	5	43	—	86		1.23	1.13	昭38年度(平8年度改称)		
			12	—	36		1.38	1.08			
	都市・建築学専攻	5	45	—	90		1.16	1.15	平14年度		
			8	—	24		1.28	0.87			
	技術社会システム専攻	5	21	—	42		1.11	1.14			
			13	—	39		0.32	0.30			

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.30	1.22		平15年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1		
			13	—	39		0.99	0.76					
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.15	1.08					
			13	—	39		0.50	0.30					
	生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76		1.28	1.36					
			11	—	33		1.14	0.63					
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.90	1.00		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41		
			16	—	48		0.74	0.43					
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.97	1.00		平5年度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号		
			11	—	33		0.57	0.27					
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.24					
			11	—	33		1.26	0.81					
	人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60		0.68	0.56					
			10	—	30		0.80	1.00					
	応用情報科学専攻	5	35	—	70		1.35	1.22		平15年 度			
10			—	30	0.66	0.50							
生命科学研究科	脳生命統御科学専 攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.85	0.77		平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号		
			10	—	30		0.50	0.40					平成30
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	70		0.78	0.62					平成30
			10	—	30		0.80	0.60					
	分子化学生物学専 攻	5	35	—	70		1.22	1.22					平成30
			10	—	30		0.70	0.70					
環境科学研究科	先進社会環境学専 攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05		平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1		
			13	—	39		1.07	0.38					
	先端環境創成学専 攻	5	60	—	120		0.93	0.91					
			20	—	60		0.60	0.50					
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.17	1.05		平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	平成30年度定員 変更 (2)	
			12	—	36		1.05	1.00					

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 総合人間学専攻 博士前期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命環境倫理学特論Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 現代哲学研究演習Ⅰ 現代哲学研究演習Ⅱ 生命環境倫理学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		倫理学特論Ⅱ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅰ 倫理学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅰ 東洋・日本美術史研究演習Ⅰ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (63) <平成31年4月> 修士(文学)
		芸術学特論Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 実験心理学特論Ⅰ 実験心理学特論Ⅱ 心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 実験心理学特論Ⅲ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅲ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命環境倫理学特論Ⅰ 哲学特論Ⅲ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 科学哲学研究演習Ⅱ 現代哲学研究演習Ⅰ 現代哲学研究演習Ⅱ 生命環境倫理学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅰ 倫理学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅰ 東洋・日本美術史特論Ⅳ 東洋・日本美術史研究演習Ⅰ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (64) <平成31年4月> 修士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅱ 美学・西洋美術史特論Ⅰ 美学・西洋美術史特論Ⅱ 美学・西洋美術史研究演習Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 実験心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 修士論文研究
専	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 実験心理学特論Ⅲ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅲ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命環境倫理学特論Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 現代哲学研究演習Ⅰ 現代哲学研究演習Ⅱ 生命環境倫理学研究演習Ⅰ 科学技術社会論実践演習 修士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		倫理学特論Ⅱ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅰ 倫理学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (60) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅰ 東洋・日本美術史特論Ⅳ 東洋・日本美術史研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (65) <平成31年4月> 修士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅱ 美学・西洋美術史特論Ⅰ 美学・西洋美術史特論Ⅱ 美学・西洋美術史研究演習Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 実験心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	坂井 信之 (50) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 実験心理学特論Ⅲ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅲ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		後藤 斉 (62) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		言語学特論Ⅰ 言語学特論Ⅲ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		小泉 政利 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		言語学特論Ⅱ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専 教授		長谷川 公一 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		社会変動学特論Ⅰ 社会変動学研究演習Ⅰ 修士論文研究
兼任 講師		長谷川 公一 (63) ＜平成32年4月＞ 博士（社会学）
		社会変動学特論Ⅰ 社会変動学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		永井 彰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 理論社会学特論Ⅰ 社会学研究演習Ⅰ 社会変動学研究演習Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅳ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		小松 丈晃 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 理論社会学特論Ⅱ 社会変動学特論Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅰ 理論社会学研究演習Ⅲ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		佐藤 嘉倫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		数理行動科学研究演習Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅱ 計算人文社会学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		木村 邦博 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 計算人文社会学特論Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 人文統計基礎演習 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		後藤 斉 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		言語学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		小泉 政利 (54) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 言語学特論Ⅱ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専 教授		長谷川 公一 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		修士論文研究
兼任 講師		長谷川 公一 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（社会学）
		修士論文研究
専 教授		永井 彰 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 理論社会学特論Ⅰ 社会学研究演習Ⅰ 理論社会学研究演習Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅳ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		小松 丈晃 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 理論社会学特論Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅰ 理論社会学研究演習Ⅲ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		佐藤 嘉倫 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 数理行動科学研究演習Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		木村 邦博 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 人文統計基礎演習 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		後藤 斉 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		言語学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専 教授		小泉 政利 (55) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 言語学特論Ⅱ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専 教授		永井 彰 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 理論社会学特論Ⅰ 理論社会学研究演習Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅳ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		小松 丈晃 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 理論社会学特論Ⅱ 理論社会学研究演習Ⅰ 理論社会学研究演習Ⅲ 修士論文研究
専 教授		佐藤 嘉倫 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 数理行動科学研究演習Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専 教授		木村 邦博 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 人文統計基礎演習 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浜田 宏 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		数理行動科学研究演習Ⅲ 数理行動科学研究演習Ⅳ 計算人文社会科学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	荻原 理 (50) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 古代中世哲学研究演習Ⅰ 古代中世哲学研究演習Ⅱ 西洋古典文化特論 修士論文研究
専	准教授	原 望 (49) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 哲学研究演習Ⅱ 科学哲学研究演習Ⅰ 科学哲学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学特論Ⅲ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 近代哲学研究演習Ⅰ 近代哲学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	村山 達也 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		倫理学特論Ⅰ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅲ 倫理学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋・日本美術史特論Ⅱ 東洋・日本美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (48) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia（イタリア）
		美学特論Ⅰ 美学研究演習Ⅰ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浜田 宏 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		数理行動科学研究演習Ⅲ 数理行動科学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	足達 薫 (49) ＜令和元年10月＞ 博士（文学）
		修士論文研究
専	准教授	荻原 理 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 哲学特論Ⅲ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 古代中世哲学研究演習Ⅰ 古代中世哲学研究演習Ⅱ 科学哲学研究演習Ⅰ 西洋古典文化特論 修士論文研究
専	准教授	原 望 (50) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学特論Ⅲ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 哲学研究演習Ⅱ 近代哲学研究演習Ⅰ 近代哲学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	村山 達也 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 倫理学特論Ⅰ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅲ 倫理学研究演習Ⅳ 倫理学研究演習Ⅴ 倫理学研究演習Ⅵ 修士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋・日本美術史特論Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅴ 東洋・日本美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (49) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia（イタリア）
		美学特論Ⅰ 美学研究演習Ⅰ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浜田 宏 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		数理行動科学研究演習Ⅲ 数理行動科学研究演習Ⅳ キャリア設計演習 修士論文研究
専	教授	足達 薫 (50) ＜令和元年10月＞ 博士（文学）
		芸術学特論Ⅰ 修士論文研究
専	教授	荻原 理 (52) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		総合人間学総合科目Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 古代中世哲学研究演習Ⅰ 古代中世哲学研究演習Ⅱ 西洋古典文化特論 修士論文研究
専	准教授	原 望 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		総合人間学総合科目Ⅱ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 哲学研究演習Ⅲ 哲学研究演習Ⅳ 科学哲学研究演習Ⅰ 科学哲学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学特論Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 哲学研究演習Ⅰ 近代哲学研究演習Ⅰ 近代哲学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	村山 達也 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		総合人間学総合科目Ⅱ 倫理学特論Ⅰ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅲ 倫理学研究演習Ⅳ 倫理学研究演習Ⅴ 倫理学研究演習Ⅵ 修士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋・日本美術史特論Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅴ 東洋・日本美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (50) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia（イタリア）
		美学特論Ⅰ 美学研究演習Ⅰ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		社会心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅰ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 言語学特論Ⅳ 学習・言語心理学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅲ 修士論文研究
専	准教授	永吉（大野）希久子 (35) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		社会行動科学特論Ⅰ 社会行動科学特論Ⅱ 計量行動科学研究演習Ⅲ 計量行動科学研究演習Ⅳ 修士論文研究
兼任	教授	沼崎 一郎 (59) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		社会心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅰ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 学習・言語心理学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅲ 修士論文研究
専	准教授	永吉（大野）希久子 (36) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		社会行動科学特論Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅲ 計量行動科学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	田代 志門 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会実働学特論Ⅱ 社会実働学研究演習Ⅱ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	瀧川 裕貴 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		計算人文社会学特論Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅱ 計算人文社会学研究演習Ⅰ 計算人文社会学研究演習Ⅱ 修士論文研究
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	辻本 昌弘 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		社会心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅰ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		総合人間学総合科目Ⅰ 学習・言語心理学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅲ 修士論文研究
兼任	講師	永吉（大野）希久子 (37) ＜令和2年4月＞ 博士（人間科学）
		社会行動科学特論Ⅰ
専	准教授	田代 志門 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会実働学特論Ⅱ 社会学研究演習Ⅰ 社会実働学研究演習Ⅱ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	瀧川 裕貴 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		計算人文社会学特論Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅱ 計算人文社会学研究演習Ⅰ 計算人文社会学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	小川 和孝 (33) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		計量行動科学研究演習Ⅲ 計量行動科学研究演習Ⅳ 修士論文研究
兼任	教授	沼崎 一郎 (61) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	桜井 宗信 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	三浦 秀一 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	川合 安 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	大河内 昌 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	島 越郎 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	森本 浩一 (61) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	今井 勉 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ キャリア設計演習
兼任	教授	有光 秀行 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	森 一郎 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学研究演習Ⅰ
兼任	教授	徳川 直人 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会学特論Ⅰ
兼任	教授	倉元 直樹 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		実験心理学特論Ⅳ 実験心理学研究演習Ⅰ 実験心理学研究演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 敏明 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	桜井 宗信 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	川合 安 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	大河内 昌 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	島 越郎 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	森本 浩一 (62) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ キャリア設計演習
兼任	教授	有光 秀行 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	森 一郎 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学研究演習Ⅰ
兼任	教授	徳川 直人 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会学特論Ⅰ
兼任	教授	倉元 直樹 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		実験心理学特論Ⅳ 実験心理学研究演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木村 敏明 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	桜井 宗信 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	三浦 秀一 (62) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	川合 安 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	森本 浩一 (63) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	有光 秀行 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	森 一郎 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学研究演習Ⅱ
兼任	教授	徳川 直人 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会学特論Ⅰ
兼任	教授	倉元 直樹 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
		実験心理学特論Ⅳ 実験心理学研究演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 章則 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語研究論文作成法
兼任	教授	齋藤 倫明 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小林 隆 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	大木 一夫 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	柳原 敏昭 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	安達 宏昭 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	阿子島 香 (62) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 章則 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	齋藤 倫明 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小林 隆 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	大木 一夫 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	柳原 敏昭 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	安達 宏昭 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	阿子島 香 (63) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高橋 章則 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小林 隆 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	大木 一夫 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	佐倉 由泰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	柳原 敏昭 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	安達 宏昭 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	阿子島 香 (64) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	金子 義明 (63) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	堀尾 喜彦 (59) ＜令和2年4月＞ 博士（工学）
		科学技術社会論実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田中（仙田）重人 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	准教授	片岡 龍 (52) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田（高橋）直美 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	小河原 義朗 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	横溝 博 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	堀 裕 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	山田 仁史 (45) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l .（ドイツ）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 人文社会科学研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	田中（仙田）重人 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	教授	片岡 龍 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田（高橋）直美 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小河原 義朗 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	横溝 博 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	堀 裕 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	山田 仁史 (46) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l .（ドイツ）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	谷山 洋三 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 茂雄 (50) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	准教授	田中（仙田）重人 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	教授	片岡 龍 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	甲田（高橋）直美 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間・環境学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小河原 義朗 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	横溝 博 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	堀 裕 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	鹿又 喜隆 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	山田 仁史 (47) ＜平成31年4月＞ D r . P h i l .（ドイツ）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	谷山 洋三 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	齋藤 智寛 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	土屋 育子 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	齋藤 智寛 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	土屋 育子 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	島崎 薫 (34) ＜平成31年4月＞ P h. D.（オーストラリア）
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	矢田 尚子 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	大野 晃嗣 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	大村 哲夫 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	齋藤 智寛 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	土屋 育子 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	島崎 薫 (35) ＜平成31年4月＞ P h. D.（オーストラリア）
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	矢田 尚子 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	大野 晃嗣 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	大村 哲夫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ
兼任	准教授	浅岡 善治 (48) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	大貫 隆史 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	黒岩 卓 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	引野 亨輔 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	高浦 康有 (46) ＜令和2年4月＞ 商学修士
		科学技術社会論実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 春樹 (68) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		哲学特論Ⅰ
兼任	講師	齋藤 直樹 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学特論Ⅱ
兼任	講師	柏端 達也 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		哲学特論Ⅳ
兼任	講師	魚住 孝至 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		倫理学特論Ⅲ
兼任	講師	泉 武夫 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		東洋・日本美術史特論Ⅲ
兼任	講師	京谷 啓徳 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		美学・西洋美術史特論Ⅰ 美学・西洋美術史特論Ⅱ
兼任	講師	清水 晋作 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会学特論Ⅱ
兼任	講師	菅原 真枝 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		社会学特論Ⅲ
兼任	講師	Max Phillips (49) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	講師	伊藤 春樹 (69) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		哲学特論Ⅰ
兼任	講師	齋藤 直樹 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (50) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
兼任	講師	染谷 昌義 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		哲学特論Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山内保典 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (36) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	助教	熊 可欣 (31) ＜令和2年4月＞ 博士（学術）
		言語学総合演習Ⅰ
兼任	講師	齋藤 直樹 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		哲学特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (51) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	木田 直人 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 倫理学特論Ⅲ			
			兼任	講師	高岸 輝 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（美術） 東洋・日本美術史特論Ⅲ			
			兼任	講師	佐久間 政広 (61) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） 社会学特論Ⅱ	兼任	講師	佐久間 政広 (62) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） 社会学特論Ⅱ
			兼任	講師	太田 健児 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） 社会学特論Ⅲ	兼任	講師	太田 健児 (59) ＜平成31年4月＞ 修士（教育学） 社会学特論Ⅲ
			兼任	講師	池田 準 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 倫理学特論Ⅱ			
			兼任	講師	芳賀 京子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 芸術学特論Ⅰ			
			兼任	講師	河地 庸介 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 実験心理学特論Ⅰ 実験心理学研究演習Ⅰ	専	准教授	河地 庸介 (40) ＜令和2年4月＞ 博士（文学） 実験心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅰ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 修士論文研究
			兼任	講師	山口 浩 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） 心理学特論Ⅰ			
			兼任	講師	那須川 訓也 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（イギリス） 言語学特論Ⅲ	兼任	講師	那須川 訓也 (52) ＜平成31年4月＞ P h . D .（イギリス） 言語学特論Ⅲ
			兼任	講師	井上 優 (57) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） 言語学特論Ⅳ	兼任	講師	井上 優 (58) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） 言語学特論Ⅳ
			兼任	講師	中川 恵 (32) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 社会変動学特論Ⅰ 社会変動学研究演習Ⅰ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	田辺 俊介 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）			
					社会行動科学特論Ⅱ			
			兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）			高橋（安住）亜希子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ			日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ
								佐藤 駿 (37) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								哲学特論Ⅲ
								伊勢田 哲治 (51) ＜令和2年4月＞ P h . D .（アメリカ）
								哲学特論Ⅳ
								笠木 雅史 (43) ＜令和2年4月＞ P h . D .（カナダ）
								倫理学特論Ⅲ
								竹浪 遼 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								東洋・日本美術史特論Ⅲ
								金政 祐司 (47) ＜令和2年4月＞ 博士（人間科学）
								心理学特論Ⅰ
								大井 慈郎 (35) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
								社会実働学特論Ⅰ 社会実働学研究演習Ⅰ
								兼 正樹 (32) ＜令和2年4月＞ 博士（政治学）
								社会行動科学特論Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、直江清隆教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・教育課程の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため並びに京谷啓徳講師就任辞退により、尾崎彰宏教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直し及び教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除及び追加。
- ・担当教員見直しのため、後藤育教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、小泉政利教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、長谷川公一教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、小松文晃教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、木村邦博教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を削除。
- ・令和元年10月足達薫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、萩原理准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、原聖准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、城戸淳准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容及び教育課程の充実のため、村山達也准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、杉本欣久准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、木山幸子准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、永吉（大野）希久子准教授の授業担当科目を削除。
- ・平成31年4月田代志門准教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月瀬川裕貴准教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のための担当者増。
- ・三浦秀一教授就任辞退により、矢田尚子准教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、倉元直樹教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、齋藤倫明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、大木一夫教授の授業担当科目を削除。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原龍郎准教授を教授に昇任。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を追加。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大野晃嗣准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・柏端達也講師就任辞退により、染谷昌義講師に変更。
- ・亀住孝至講師就任辞退により、木田直人講師に変更。
- ・泉武夫講師就任辞退により、高岸輝講師に変更。
- ・清水晋作講師就任辞退により、佐久間政広講師に変更。
- ・菅原真枝講師就任辞退により、太田健児講師に変更。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月池田準講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月芳賀京子講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月河地庸介講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月山口浩講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月那須川訓也講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月井上優講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月中川恵講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月田辺俊介講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・教育課程の充実及び担当教員見直しのため、直江清隆教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・池田準講師退職のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・長谷川公一兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、小松文晃教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を追加。
- ・芳賀京子講師退職のため、足達薫教授の授業担当科目を追加。
- ・萩原理准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・教育内容及び教育課程の充実並びに担当教員見直しのため、原聖准教授の授業担当科目を追加。
- ・伊藤春樹講師退職及び担当教員見直しのため、城戸淳准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・永吉（大野）希久子准教授を専任から兼任講師に切替により、小川和孝准教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、田代志門准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、桜井宗信教授の授業担当科目を追加。
- ・令和2年4月三浦秀一教授就任。担当教員見直しのため。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、大河内昌教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、鳥越郎教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、森一朗講師の授業担当科目を追加及び削除。
- ・齋藤倫明准教授就任辞退のため、大木一夫教授の授業担当科目を追加。「日本学総合科目Ⅱ」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、柳原敏昭教授の授業担当科目を追加。
- ・令和2年4月金子義明教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月堀尾嘉彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授就任。教育課程の充実のため。
- ・甲田（高橋）直美准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、堀裕教授の授業担当科目を削除。
- ・鹿又喜隆准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直しのため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を削除。
- ・大野晃嗣准教授を教授に昇任。
- ・令和2年4月浅岡善治准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月大貫隆史准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月黒岩卓准教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・令和2年4月高浦康有准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月山内保典准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月熊可欣助教就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・染谷昌義講師退職により、伊勢田哲治講師に変更。
- ・木田直人講師退職により、笠木雅史講師に変更。
- ・高岸輝講師退職により、竹浪達講師に変更。
- ・令和2年4月河地庸介講師兼任から専任に切替及び准教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・山口浩講師退職により、金政祐司講師に変更。
- ・中川恵講師退職により、大井慈郎講師に変更。
- ・田辺俊介講師退職により、素正樹講師に変更。
- ・令和2年4月佐藤駿講師就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')	
13	10	0	0	23	0	15	12	0	0	27	0	
(14)	(12)	(0)	(0)	(26)	(0)							
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数					
23	0	0				27	0					0
(26)	(0)	(0)										
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')	
15	12	0	0	27	0	15	12	0	0	27	0	
[2]	[2]	[0]	[0]	[4]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[4]	[0]	
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数					
27	0	0				27	0					0
[4]	[0]	[0]				[4]	[0]					[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{27}{23} = \boxed{117.39} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	永吉（大野）希久子	R2.3	選択	社会行動科学特論Ⅰ	②	R2.3.31付け一身上の都合のため辞任（2）						
				選択	計量行動科学研究演習Ⅲ	①							
				選択	計量行動科学研究演習Ⅳ	①							
				必修	修士論文研究	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	3	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	3	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{23} = 4.34 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ー⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	長谷川 公一	必修	修士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
1. 「社会行動科学特論Ⅰ」については、辞任した教員が引き続き兼任講師として担当しているため、教育上の支障はない。
2. 「計量行動科学研究演習Ⅲ」「計量行動科学研究演習Ⅳ」については、他の教員が担当しているため、教育上の支障はない。
3. 「修士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。
「学生への周知方法」
シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

＜文学研究科 総合人間学専攻 博士後期課程＞

(1) ① 担当教員表

【事前伺い時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (58) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (62) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	尾崎 彰宏 (62) ＜平成33年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	坂井 信之 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	後藤 斉 (62) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	後藤 斉 (62) ＜平成33年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	教授	小泉 政利 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論 博士論文研究

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	尾崎 彰宏 (63) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	坂井 信之 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	後藤 斉 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	後藤 斉 (63) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	教授	小泉 政利 (54) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論 博士論文研究

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		科学技術社会論実践演習 博士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (60) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		博士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	尾崎 彰宏 (64) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	坂井 信之 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	後藤 斉 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
兼任	講師	後藤 斉 (64) ＜令和3年4月＞ 修士（文学）
		博士論文研究
専	教授	小泉 政利 (55) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		研究倫理特論 博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 公一 (63) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
兼任	講師	長谷川 公一 (63) ＜平成32年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
専	教授	永井 彰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	小松 文晃 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	木村 邦博 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究
専	教授	浜田 宏 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
専	准教授	荻原 理 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		西洋古典文化特論 博士論文研究
専	准教授	原 望 (49) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 公一 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
兼任	講師	長谷川 公一 (64) ＜令和2年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
専	教授	永井 彰 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	小松 文晃 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 邦博 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究
専	教授	浜田 宏 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
専	教授	足達 薫 (50) ＜令和元年10月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	荻原 理 (52) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		西洋古典文化特論 博士論文研究
専	准教授	原 望 (50) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永井 彰 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究
専	教授	小松 文晃 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 邦博 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究
専	教授	浜田 宏 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		キャリア設計演習 博士論文研究
専	教授	足達 薫 (50) ＜令和元年10月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	教授	荻原 理 (53) ＜平成31年4月＞ P h . D .（アメリカ）
		西洋古典文化特論 博士論文研究
専	准教授	原 望 (51) ＜平成31年4月＞ P h . D .（ドイツ）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村山 達也 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		博士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (48) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia（イタリア）
		博士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		博士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	永吉（大野）希久子 (35) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		博士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		日本語研究論文作成法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村山 達也 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		博士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (49) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia（イタリア）
		博士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		博士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	永吉（大野）希久子 (36) ＜平成31年4月＞ 博士（人間科学）
		博士論文研究
専	准教授	田代 志門 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	瀧川 裕貴 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	村山 達也 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（哲学）
		博士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (50) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia（イタリア）
		博士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（心理学）
		博士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	田代 志門 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究
専	准教授	瀧川 裕貴 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（社会学）
		博士論文研究
専	准教授	小川 和孝 (33) ＜令和2年4月＞ 博士（教育学）
		博士論文研究
専	准教授	河地 庸介 (40) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		博士論文研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 隆 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		キャリア設計演習
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		英語発表技能演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 隆 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	今井 勉 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 キャリア設計演習
兼任	教授	小河原 義朗 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	三浦 秀一 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 隆 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	今井 勉 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	三浦 秀一 (62) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	沼崎 一郎 (61) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	片岡 龍 (54) ＜令和2年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 茂雄 (53) ＜令和2年4月＞ 博士（情報科学）
		科学技術社会論実践演習
兼任	教授	堀尾 喜彦 (60) ＜令和2年4月＞ 工学博士
		科学技術社会論実践演習
兼任	教授	大森 美香 (56) ＜令和2年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (45) ＜平成31年4月＞ P h. D.（アメリカ）
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	谷山 洋三 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	谷山 洋三 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		人文社会科学研究			人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	齋藤 俊光 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	齋藤 俊光 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	山田 仁史 (46) ＜平成31年4月＞ Dr. Phil. (ドイツ)	兼任	准教授	山田 仁史 (47) ＜平成31年4月＞ Dr. Phil. (ドイツ)
					人文社会科学特別科目			人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	大村 哲夫 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	大村 哲夫 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ			人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ
						兼任	准教授	高浦 康有 (46) ＜令和2年4月＞ 修士（商学）
								科学技術社会論実践演習
						兼任	准教授	山内 保典 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（心理学）
								科学技術社会論実践演習
			兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (36) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ			日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (49) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)	兼任	講師	Max Phillips (50) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)	兼任	講師	Max Phillips (51) ＜平成31年4月＞ MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法			英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ			英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
			兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	高橋（安住）亜希子 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
					日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ			日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（研）、実（研）、実（研））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、小松丈晃教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を追加。
- ・令和元年10月足達薫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月田代志門准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月瀧川裕貴准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・木村敏明教授就任辞退により、小河原義朗教授に変更。
- ・平成31年4月三浦秀一教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月沼崎一郎教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・平成31年4月龍橋俊光准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月山田仁史准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋草則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

【令和2年度】

- ・教育課程の充実のため、直江清隆教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、長岡龍作教授の授業担当科目を削除。
- ・担当者見直しのため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除。
- ・長谷川公一兼任講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を追加。
- ・荻原理准教授を教授へ昇任。
- ・担当教員見直しのため、杉本欣久准教授の授業担当科目を追加。
- ・永吉（大野）希久子准教授退職により、小川和孝准教授に変更。
- ・令和2年4月河地庸介准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・担当教員見直しのため、今井勉教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、小河原義朗教授の授業担当科目を削除。
- ・令和2年4月片岡龍教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月佐藤茂雄教授及び堀尾喜彦教授就任。教育課程の充実のため。
- ・令和2年4月大森美香教授就任。担当教員見直しのため。
- ・令和2年4月高浦康有雄准教授及び山内保典淳教授就任。教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
11	10	0	0	21	0	15	12	0	0	27	0
(14)	(12)	(0)	(0)	(26)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
21	0	0			27	0	0				
(26)	(0)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
13	12	0	0	25	0	13	12	0	0	25	0
[2]	[2]	[0]	[0]	[4]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[4]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数				
25	0	0			25	0	0				
[4]	[0]	[0]			[4]	[0]	[0]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2)－③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{25}{21} = \boxed{119.04} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	永吉（大野）希久子	R2.3	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け一身上の都合のため辞任（2）			
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{21} = 4.76 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	長谷川 公一	必修	博士論文研究	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（２）				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」 「博士論文研究」については、退職した専任教員と同じ研究分野の専任教員が担当しているため、教育上の支障はない。 「学生への周知方法」 シラバスに授業科目の担当教員を掲載し、学生に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学研究科 総合人間学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日としており、令和元年度は年間19回開催した。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席した。

<コンプライアンス推進委員会>

不定期開催としており、令和元年度は開催しなかった。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄、を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

② 実施状況

a 実施内容

令和元年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの受講を促すとともに、「研究倫理・研究不正防止FD」を10/17に実施した。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「教育に関するFD」を1/16に実施した。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させた。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に促した。

b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは 一般財団法人公正研究推進協会が提供するeラーニング教材を利用して実施した。

FDは高度教養教育・学生支援機構から講師を派遣してもらい、講義形式で実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時、FDは各年1回を予定。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「教育に関するFD」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和２年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和３年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。